

平成29年度

北部保健医療圏圏域別取組実施計画

目 次

小児医療(小児救急医療を含む)…	3頁
在宅医療(在宅歯科診療を含む)…	10頁
精神疾患医療……………	20頁
健康増進・生活習慣病予防対策 …	30頁
健康危機管理体制の整備充実……	53頁

事業名

小児医療(小児救急医療を含む)

目標

保護者等に対する救急時の対応方法やかかりつけ医を持つことの意義等に関する周知を図り、身近な地域で医療を受けられるようにします。また、小児初期救急体制に関する情報の普及啓発に努め、小児二次救急医療体制の整備を進め、保護者の不安を解消します。

主な取組

- 小児初期救急医療体制の整備
 - 小児二次救急医療体制の整備
 - 小児医療に関する適切な受診などの普及啓発
- 実施主体:市町、保健所、医師会、病院、民間団体(NPO法人など)

平成29年度 北部保健医療圏圏域別取組実施計画

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 休日・夜間急患診療所への医師の派遣</p> <p>【対象】 一般市民</p> <p>【方法】 熊谷市と連携しながら、休日・夜間急患診療所へ会員の医師を派遣する。安定した執務体制を確保するために、新規会員を含め、会員に積極的にPR行い、医師の確保に努める。</p> <p>【手順】</p>	

実施機関	本庄市児玉郡医師会	
現状・課題等	本庄総合病院における平日夜間小児初期救急医療(1日/週)が撤退し、それに代わるものとして、医師会が本庄市休日急患診療所において平成29年度7月より平日木曜日夜間診療を追加実施することになる。当面は、会員の内科系医師で輪番で行うことになるが、将来的には医師の確保が難しい局面が現れることが想定される。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 平日木曜日夜間診療の課題検討</p> <p>【対象】 行政、医師会会員</p> <p>【方法】 休日診療所運営委員会の開催</p> <p>【手順】</p>	7月より実施される平日木曜夜間診療における問題点を検討する。

実施機関	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 こども夜間診療所</p> <p>【対象】 15歳以下のこども</p> <p>【方法】 土・日・祝・年末年始、19:00から22:00の外来診療</p> <p>【手順】</p>	広域での小児二次救急医療機関との連携を図る。

実施機関	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 救急医療について知識の普及・啓発</p> <p>【対象】 こども夜間診療所来所者</p> <p>【方法】 「子どもの救急ミニガイドブック」の配置</p> <p>【手順】 診療所窓口等に設置</p>	かかりつけの診療時間に受診するよう啓発する。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	DMFTの減少を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 小児う蝕予防対策事業の推進 【対象】 保育園児・幼稚園児・小学生 【方法】 フッ化物洗口 【手順】 市内各保育園・幼稚園・小学校において、フッ化物洗口を実施する。	熊谷市第2次健康増進計画の目標値の達成を目指す。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 ママ・パパ教室 【対象】 妊産婦、父親等 【方法】 講義による口腔衛生の啓発 【手順】 母子健康センター、妻沼保健センターで開催されるママ・パパ教室に講師を派遣し講義を行う。	1歳6か月健診時にう蝕が無いことを一つの指標としたい。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	休日・夜間急患診療所の夜間執務体制の充実	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 休日・夜間急患診療所の夜間執務体制の充実 【対象】 【方法】 ・初期救急医療の役割を担う夜間急患診療所における感染症流行時の医療体制の充実を図る。 【手順】 ・休診の医療機関が多いことによって受診患者数の増加が見込まれる感染症流行時期の夜間診療における看護師の増員。 ・受診患者数が増加する年末年始、5月連休、お盆期間の夜間診療及び感染症流行時の夜間診療における医療スタッフ(医師、薬剤師、看護師)の増員。 ・二次救急医療機関との連携強化と診療体制の一層の充実。	・受診患者数の増加が見込まれる日や感染症流行時における医療体制の充実を図り、市民が安心して暮らせるよう医療提供の安定確保に努める。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	適切な受診方法や救急知識の普及啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 市報「みんなの健康」コーナーでの広報 【対象】 一般市民 【方法】 休日・夜間急患診療所の案内(毎月) 埼玉県救急電話相談の紹介を掲載(9月) 【手順】 全戸配布の市報「みんなの健康」コーナーに定期的に記事を掲載。 【事業名】 「熊谷市くらしのカレンダー」での広報 【対象】 一般市民 【方法】 毎年全戸に配布される「熊谷市くらしのカレンダー」に休日・夜間急患診療所のご案内、消防指令センター、埼玉県救急電話相談、熊谷市の救急医療体制、埼玉県救急医療情報センターを掲載。 【手順】 全戸配布の「くらしのカレンダー」1ページを使い、記事を掲載。 【事業名】 市ホームページ(モバイル版を含む)での広報 【対象】 一般市民 【方法】 市ホームページ「急な病気やケガをしたら」コーナーにて、病医院検索、休日・夜間急患診療所、救急医療ガイド、おかあさんのための救急&予防サイト、埼玉県救急電話相談を掲載。 【手順】 市ホームページに記事を掲載。	毎月掲載 定期掲載 毎年掲載 常時掲載 随時更新

実施機関	本庄市	
現状・課題等	小児二次救急輪番参加病院が少なく、拠点病院の小児科医が不足しているのが現状。当地域の救急患者は、地理的条件から隣県の医療機関へ多く受診している現状である。初期救急患者の多くが二次救急病院に受診している現状も踏まえ、今後も小児救急体制の整備を進める必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 小児救急医療体制の整備</p> <p>初期： 休日急患診療所運営事業 在宅当番医制事業</p> <p>小児二次： 熊谷・深谷・児玉地区小児二次救急診療事業 (深谷赤十字病院・行田総合病院・熊谷総合病院) 児玉地区県外小児後方支援病院事業 (公立藤岡総合病院・伊勢崎市民病院)</p> <p>【対象】 小児</p> <p>【方法】</p> <p>初期： 休日急患診療業務事業費助成(児玉郡市4市町の負担) 在宅当番医制事業費助成(児玉郡市4市町の負担)</p> <p>小児二次： 小児二次救急病院の運営・後方支援(県北8市町の負担) 深谷赤十字病院の拠点病院化への推進 県外小児二次救急病院への助成 (児玉郡市4市町の負担 公立藤岡総合病院・伊勢崎市民病院)</p>	小児救急患者の初期診療確保。北部医療圏として広域体制による小児二次救急医療の拡充。

実施機関	本庄市	
現状・課題等	子どもが病気になった時に気軽に相談できる体制整備や、適切な受診について普及啓発のため、訪問や健診を活用。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 赤ちゃん訪問(全数)</p> <p>【対象】 おおむね4ヶ月までの乳児及び保護者等</p> <p>【方法】 保健師及び助産師による訪問指導</p> <p>【手順】 (急病やけがの時の対応について説明、#8000の普及・啓発) 妊娠届け時・出産届時に周知し、電話連絡により訪問日を調整する。</p> <p>【事業名】 3～4か月児検診</p> <p>【対象】 3～4か月の乳児及び保護者</p> <p>【方法】 集団指導時に「子どもの救急ガイドブック」「大変危険です、子どもの誤飲」を配布、指導。</p> <p>【手順】 対象者を抽出し、検診案内通知を郵送。</p>	赤ちゃん訪問や検診時に、病気や怪我の対応に関する知識を深める場として、子育てにおける不安の軽減や解消に繋げる。

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	小児初期救急医療体制の維持・充実	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 休日診療所</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【方法】 休日などに、比較的軽症な患者の外来診療を行う。 診療科目: 内科・小児科 診療時間: 午前9時～12時、午後2時～5時 (受付時間: 午前9時～午前11時30分、午後2時～4時30分) 診療日: 日曜、祝休日、年末年始(12月31日～1月3日)</p> <p>【手順】 深谷寄居医師会休日診療所こども夜間診療所への運営費補助</p> <p>【事業名】 こども夜間診療所</p> <p>【対象】 市民(小児)</p> <p>【方法】 休日などに、比較的軽症な患者の外来診療を行う。 診療科目: 小児科(小児内科) 診療時間: 午後7時～10時 (受付時間: 午後7時～9時30分) 診療日: 土曜、日曜、祝休日、年末年始(12月31日～1月3日)</p> <p>【手順】 深谷寄居医師会休日診療所こども夜間診療所への運営費補助</p>	小児救急患者の初期診療確保。北部医療圏として広域体制による小児二次救急医療の拡充。

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	小児二次救急医療体制の充実・強化	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 小児二次救急医療体制整備</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【方法】 熊谷、深谷、児玉地区を3病院の輪番により、平日の夜間及び休日、祝日、年末年始の日中・夜間の小児二次救急医療を実施する。また、小児救急医療医師派遣支援事業により、毎週水曜に熊谷総合病院、毎週木曜、日曜、に深谷赤十字病院に医師派遣を実施。</p> <p>【手順】 輪番病院への補助(負担金)</p>	小児二次救急医療体制の充実・強化

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	適切な受診などの小児医療に関する知識・情報の普及・啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 小児医療に関する知識・情報の普及・啓発</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【方法】 小児救急電話相談(＃8000)の活用、かかりつけ医をもつことの重要性、医療機関の適切な受診について、救急医療の現状を含め、広報・講演会等で普及・啓発を図る。</p> <p>【手順】 ポスター、チラシ、啓発物資等による周知</p>	適切な受診など、小児医療に関する知識・情報の普及啓発

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	赤ちゃん訪問でPRしている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 小児医療に関する適切な受診などの普及啓発 【対象】 住民 【方法】 広報みさとの掲載。赤ちゃん訪問等でチラシ配布。 【手順】 赤ちゃん訪問は全戸訪問実施。その際に、小児救急電話相談#8000・休日急患診療所・在宅当番医・救急医療情報センター・児玉郡市広域消防本部等の情報を提供している。県作成の「子どもの救急ミニガイドブック」を配布している。	小児医療の普及と啓発

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 休日急患診療所運営事業・在宅当番医制運営事業・病院群輪番制運営事業 【対象】 地域住民 【方法】 【手順】	地域住民の急病患者の診療確保

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 小児救急医療支援事業 【対象】 小児 【方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・熊谷・深谷・児玉地区小児救急医療支援事業 ・熊谷・深谷・児玉地区医師派遣事業 ・藤岡総合病院後方支援事業 ・伊勢崎市民病院後方支援事業 【手順】	休日・夜間を含め、小児救急患者の受け入れができる体制を確保する。

実施機関	神川町	
現状・課題等	小児救急の知識や情報の普及啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 小児救急の知識や#8000、休日急患診療所等の普及啓発 【対象】 乳幼児、小児をもつ保護者 【方法】 赤ちゃん訪問や6か月児健診での説明及び広報、HP、チラシ、冊子での啓発等 【手順】 ・赤ちゃん訪問時等に県作成の救急ミニガイドブックも併せて配布	

実施機関	神川町	
現状・課題等	休日・夜間救急診療体制の充実	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 休日・夜間救急診療体制の整備 【対象】 地域住民 【方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・休日急患診療所運営事業 ・在宅当番医制事業 ・平日夜間診療事業 ・病院群輪番制病院運営事業 【手順】	

実施機関	神川町	
現状・課題等	小児救急医療体制の充実	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 小児救急医療体制の整備 【対象】 小児 【方法】 ・熊谷・深谷・児玉地区小児二次救急医療支援事業 ・熊谷・深谷・児玉地区医師派遣事業 ・県外小児救急医療後方支援事業(公立藤岡総合病院・伊勢崎市民病院) ・小児救急医後方支援事業(深谷赤十字病院) 【手順】	

実施機関	上里町	
現状・課題等	小児初期救急医療体制の整備・充実及び利用の啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 ①休日急患診療所運営事業②在宅当番医制事業 【対象】 小児をはじめとした地域住民 【方法】 児玉郡市4市町の負担金により運営し、本庄地域定住自立圏協定による取組をする。 【手順】 本庄市児玉郡医師会と連携し、広報・ホームページで引き続き周知を図り、利用者のニーズに合った診療体制を確保する。	比較的軽症な患者の受診について、本庄児玉郡内の初期救急医療体制の充実。

実施機関	上里町	
現状・課題等	小児二次救急医療体制の整備が課題であるが、医師不足により土曜日夜間が手薄になるなど早急に対応が必要	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 ①熊谷・深谷・児玉地区小児救急医療支援事業 ②医師派遣支援事業 ③病院群輪番制病院運営事業医師派遣事業 ④県外小児後方支援病院(藤岡総合病院・伊勢崎市民病院) 【対象】 小児をはじめとした地域住民 【方法】 ①②については県北8市町、③④については児玉郡市4市町の負担金に県外(群馬県)医療機関への搬送ケースが多い状況から、費用負担等による連携を模索する。 【手順】 現在手薄になっている曜日・時間の受け入れ体制確保。小児二次救急及び後方支援の実施に係る課題の解決を目指す。	熊谷・深谷・児玉地区の広域連携により、小児二次救急医療の体制強化、拡充。

実施機関	上里町	
現状・課題等	小児医療に係る知識、情報の普及啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 小児医療についての知識・情報の普及啓発 【対象】 小児を持つ保護者 【方法】 赤ちゃん訪問、健診などで個別に周知する。また広報誌やHPなどにより普及啓発を行う。 【手順】 県作成の「子どもの救急ミニガイドブック」に休日急患診療所や消防本部など郡内の情報も盛り込み、赤ちゃん訪問時に配布する。健診では事故予防のちらしを配布。広報誌・HPを活用して小児を持つ保護者に引き続き普及啓発を行う。	初期、二次、三次救急についての知識や情報の普及に努め、それぞれの適正受診を促す。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	救急医療体制の充実を図るため、事業の継続と関係機関との連携強化に努める	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 救急医療体制強化事業 【対象】 全住民 【方法】 熊谷・深谷・児玉地区における小児救急支援事業の継続 救急医療対策事業運営費負担金の継続 【手順】	事業の継続

実施機関	寄居町	
現状・課題等	適正な医療機関受診に関する普及啓発を図る	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 適切な受診に関する普及啓発事業 【対象】 全住民 【方法】 広報・ホームページの活用 パンフレットの配布 【手順】	広報・ホームページ掲載

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	小児救急医療体制の整備、充実	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 小児救急医療支援事業 【対象】 二次医療圏 【方法】 輪番病院を確保し、小児救急医療支援事業を充実・強化する。 【手順】 小児二次輪番病院と輪番日や医師派遣事業について調整を図り、日中、夜間ともに365日全日確保する。	小児救急医療支援事業提供体制の維持 支援事業の円滑な実施
	【事業名】 小児救急医療啓発事業 【対象】 乳幼児をもつ保護者、支援者 【方法】 小児救急法セミナーの開催 【手順】 AED心肺蘇生法、身近な物を使った救急法のセミナーを開催し、子ども救急時に慌てず適正受診できるよう研修する。	小児医療における適正受診の推進

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	初期救急は平日夜間の診療体制の拡充、小児二次救急においても強化が課題である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 小児救急医療支援事業 【対象】 } 【方法】 } 熊谷保健所と共通 【手順】 }	小児救急医療支援事業提供体制の維持、拡大支援事業の円滑な実施。

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	休日急患診療所及び二次救急輪番病院における適正受診を図るため、さらなる住民への周知が課題である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 「#8000」等の広報 【対象】 管内の住民 【方法】 市町広報等による啓発 【手順】 管内市町等の関係機関と連携し、「#8000」を利用した適正受診について啓発する。	救急医療情報の周知度を高める。

事業名 在宅医療(在宅歯科診療を含む)

目標 在宅医療を必要とする住民に適切な情報が届くよう、在宅医療に関する情報提供を充実させます。また、在宅医療が円滑に展開されるよう、地域の診療所と病院との医療連携など、在宅医療に関する環境整備に取り組みます。さらに、医科・歯科・看護・薬局など在宅医療に関わる医療関係者、介護・福祉の関係者間の連携構築を図ります。

主な取組 ■在宅医療に関する情報提供
 ■在宅医療が円滑に実施されるための環境整備
 ■医療関係者及び福祉・介護関係者間の連携体制の構築
 実施主体:保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院福祉・介護施設

平成29年度 北部保健医療圏圏域別取組実施計画

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅医療提供体制充実支援事業 【対象】 一般市民 【方法】 県の補助を活用し、在宅医療提供体制充実支援事業を推進する。 【手順】 熊谷在宅医療支援センターを埼玉慈恵病院に継続し設置する。在宅療養支援ベッドを輪番により確保する。往診医と患者の登録を進める。	

実施機関	本庄市児玉郡医師会	
現状・課題等	平成27年度より医師会訪問看護ステーション内に在宅医療拠点を設置した。地域の医療・介護関係者や連携病院等との情報共有事業等を進める。また、平成30年度よりこの事業の主体が埼玉県から各市町村へ移行となるため、各市町と医師会との役割について明確にする必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅医療推進事業 【対象】 行政、医療及び介護関係者等 【方法】 検討会の開催 【手順】	事業主体が県から市町へ移行する平成30年度に向けて、各市町と医師会との役割分担を決める。

実施機関	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 深谷寄居在宅医療連携室 【対象】 在宅療養患者とその家族、医療・介護関係者等 【方法】 コーディネータの配置(相談窓口業務及び情報共有支援等) 【手順】 医療・介護連携ネットワークの構築	往診医の登録 患者情報の共有 在宅療養支援ベッド確保 MCSの普及と患者登録

平成29年度	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	平成28年度は、553名に対して歯科訪問診療を実施。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 歯科訪問診療 【対象】 在宅療養者 【方法】 訪問診療 【手順】 受診希望者は熊谷市歯科医師会事務局へ連絡、予備診査の後、かかりつけ歯科医がある場合はそちらで、無い場合には歯科訪問診療推進委員会に対応する。	在宅療養者の口腔の健康の向上を図り、口から食べられる状態を維持し、QOLの向上を目指す。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	熊谷総合病院と連携し、良好な関係を築いている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 口腔アセスメント 【対象】 入院患者 【方法】 連携病院への訪問 【手順】 歯科訪問診療推進委員会、地域包括ケアシステム推進委員会の委員が連携病院へ訪問、アセスメント表を用いて実施。	入院期間中の口腔機能の低下を防ぐとともに、誤嚥性肺炎等を予防する。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 地域包括ケア推進委員会 【対象】 会員及び歯科衛生士 【方法】 年間数回の委員会を実施し、情報交換、検討を行う。 【手順】 必要に応じて地域包括ケア推進委員会との合同会議を行う。	委員会を統合し、意見交換を行うことにより、訪問診療をより円滑に行う。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	高齢化社会に向けて、在宅訪問歯科診療の必要性が、急激に増えて来ている。歯科医師会として、これからの高齢化社会の対応すべく措置として、在宅推進窓口を設置し、歯科衛生士を常駐にて対応、派遣依頼を歯科医師会員の先生方をお願いするシステムを構築した。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅歯科医療・訪問診療 受付推進窓口 【対象】 本庄市児玉郡在住の在宅治療の必要な方 【方法】 本庄市児玉郡歯科医師会事務所に訪問診療・依頼・の窓口を開設 【手順】 依頼者は、本庄市児玉郡歯科医師会に連絡して頂き、会員内の先生に連絡訪問していく形態。医師会、薬剤師会、ケアマネを他職種の連携も行っている。	開設して約2年が経過し、少しずつではあるが、利用してもらえようになった。しかし、まだ周知されていないのが現状であり更に需要を高めたい。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	訪問歯科治療の必要性のあるかどうか、口腔アセスメントによって治療に結びつけていく。高齢者の場合、治療の必要性がある場合でも、自覚や依頼することが困難になっている場合が多く、フォローしていくことが非常に大切である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 歯科口腔アセスメント 【対象】 青木病院 【方法】 1か月に数回、決められた日、時間に2~3人の方を定期的に行っている。 【手順】 上記の方法、手順により歯科医師会を通して、実際に治療に至っているケースが増えている。	口腔アセスメントの必要性、重要性が今後大切になってくるので、そのための準備もしっかり、行っていく。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会、本庄市、NPO財団	
現状・課題等	高齢者の口腔機能低下による、誤嚥性肺炎や介護レベルが上がってしまうことが、非常に問題視されている。国の医療費も莫大なものと予想され、病気になってしまわないよう、予防の段階が、一番大事と位置付けている。口腔機能訓練を取り入れることによって、高齢化社会を乗り切っていきたい。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 はにぼん健康体操講演会(筋力アップ教室リーダーフォローアップ研修会)</p> <p>【対象】 高齢者の集まる様々な団体グループのリーダーの方々</p> <p>【方法】 歯科医師会の先生方が各グループのリーダーを直接指導し広めていく。</p> <p>【手順】 はにぼん健康体操講演会(筋力アップ教室リーダーフォローアップ研修会)を各団体のグループリーダーを中心に行い、作成したDVDなど使用し、個人やご家族の方でも、口腔筋カトレーニングが出来る。</p>	高齢化社会に向けて、誤嚥性肺炎などの予防を今のうちから行い、医療費削減、元気で健康な高齢化社会を目指していく。

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	在宅歯科医療推進事業(拠点施設の設置・衛生士確保・病院アセスメント・多職種連携)を基に在宅歯科医療の充実化を進める。歯科医師会会員のスキルアップを図り、協力歯科医院の増加を目指す。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅歯科医療推進事業 【対象】 郡市歯科医師会会員・拠点施設衛生士 【方法】 定例会にて説明及び協力依頼、勉強会の実施 【手順】 チラシによる広報活動	在宅歯科医療の相談・診療実績の増加

実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	在宅歯科医療推進事業の充実化を進める。地域格差の是正。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅歯科医療研修会・疾患別対応スキルアップ研修会 【対象】 埼玉県歯科医師会会員 【方法】 研修会の開催 【手順】 在宅歯科医療について、脳卒中・認知症対策について研修	研修会参加者の増加

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	障害者の口腔状態の把握と職員に対する歯科口腔保健の普及	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 社会福祉法人「花園」歯科健診 【対象】 「花園」入所者・通所者 約100名 【方法】 歯科医師会会員の先生10名による歯科健診 【手順】	対象者の口腔状態の向上

実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	小規模障害者施設の職員・家族に対する歯科口腔保健の啓蒙	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 障害者等歯科保健医療推進事業 【対象】 障害者支援施設職員・家族 【方法】 歯科医師会会員が施設に赴き、お口の健康についてのミニ講演を行ない職員家族の歯科口腔保健に対する日頃の悩みや疑問点に答える。 【手順】	実地施設の増加

実施機関	(一社)熊谷薬剤師会	
現状・課題等	在宅医療における薬剤師の職能の向上と、地域の医療機関・介護施設の多職種との連携の強化を図る。また、在宅医療に資するため、無菌調剤室の共同利用を促進する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅医療推進、無菌調剤室共同利用 【対象】 薬剤師、在宅医療に関わる多職種 【方法】 研修会、検討委員会、ワールドカフェ 【手順】 在宅医療における薬剤師の職能向上のための研修会を開催する。多職種との連携を図るため、地域ケア会議等への会員薬剤師の派遣、ワールドカフェによる多職種の情報交換会の開催等を行う。無菌調剤室の共同利用促進のための研修会等を開催する。	1. 在宅医療に関する研修会の開催 2. 在宅医療に関わる多職種との連携の構築 3. 無菌調剤室の共同利用の促進

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	老々介護がますます増加傾向にあり、在宅医療より、施設入所を希望する家庭が増えている。在宅医療になった場合の必要な情報提供をする。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】在宅医療に関する情報提供 【対象】地域住民 【方法】行政および県薬が作成したリーフレット等活用する。 【手順】残薬整理等を行い、薬剤師の必要性を理解してもらう。	適切な情報を届けるよう努力する。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	在宅訪問している薬剤師は、増加傾向にある。薬剤師の必要性をアピールし、環境整備をすすめる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】在宅医療受け入れ環境の整備 【対象】会員薬局の薬剤師 【方法】研修会等を開催し、在宅医療に関わる薬剤師を増やす。 【手順】在宅ステップアップ講習に、多くの会員に参加してもらい、実際に携わっている薬剤師にアドバイス等受ける。	在宅医療に取り組める会員を増やす。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	MCS等を用いて、今後も、多職種連携を行う。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】多職種連携体制・情報共有の構築 【対象】医療・福祉・介護関係者 【方法】MCSや、お薬手帳を活用する。 【手順】新しく作成したお薬手帳を活用。	お薬手帳に、介護関連を記入できるページを追加したので、多くの患者さんや介護関係者に活用してもらう。

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	在宅医療に関する薬剤師の知識向上	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】在宅医療に関する講習会・勉強会を実施します 【対象】薬剤師会会員 【方法】薬剤師会会員の在宅医療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を実施します。 【手順】薬剤師会定期講習会のスケジュールに組み込みます。	

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	薬剤師と在宅医療のかかわりについて地域住民に啓蒙します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】薬剤師と在宅医療について地域住民に伝えるため、健康まつり等に参加し、在宅介護相談を実施します。 【対象】地域住民 【方法】健康まつり等に参加し、薬剤師の役割を伝えます。 【手順】健康まつり等で介護相談に対応します。	

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	在宅医療に関わる医療関係者や介護・福祉関係者との連携強化をはかります。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】在宅医療をすすめるため、他職種連携を図ります。</p> <p>【対象】 深谷市薬剤師会会員</p> <p>【方法】 他職種が参加する在宅医療関連研修会に参加します。</p> <p>【手順】 他職種が参加する在宅医療関連研修会に参加します。</p>	

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	健康まつりで来場者にパンフレット配布し、また寄居町社会福祉協議会にも同じものを置いていただき告知の助けをさせていただいています。本年中には当会ホームページ中に専用サイトの作成準備中です。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】在宅医療に関する情報提供</p> <p>【対象】 地域住民</p> <p>【方法】 独自のパンフレットを作成し配布する。</p> <p>【手順】 平成29年11月12日開催予定の健康まつりにおいて来場者に配布します また寄居薬剤師会のホームページにおいて在宅医療に関する情報を随時掲載します。 寄居薬剤師会のホームページ～http://www1a.biglobe.ne.jp/ypa/</p>	11月12日に開催の健康まつりにおいて来場者に在宅医療に関連したパンフレット300枚を配布します。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	環境整備においてはハード、ソフト両面において立ち遅れている状況ですので、患者様の声を聞きながら、その需要を把握してそれについてどう対応できるか、検討します。すでに在宅の実績を持つ会員から情報発信をお願いします。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】在宅医療が円滑に実施されるための環境整備</p> <p>【対象】 会員薬局の薬剤師やスタッフ</p> <p>【方法】 薬局薬剤師が在宅医療にどのようにかかわっていくのか研修する。</p> <p>【手順】 在宅の現場において薬剤に関する困り事やトラブルの具体例を把握し、対応マニュアルを作成し、会員薬局に配布する。会員薬局においては県薬が主催する在宅医療推進講習会に参加して在宅訪問について研修します。</p>	会員薬局において、個別に活動し評価します。また研修会の折に特記的な事例はその会員薬局に発表する機会を設けます。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	連携体制の構築はまだまだ端緒の状況と思われるので、情報発信をしながら先進地区の方の助言や役立つ情報を求めたりします。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】医療関係者及び福祉・介護関係者間の連携体制の構築</p> <p>【対象】 会員薬局の薬剤師やスタッフ</p> <p>【方法】 多職種が集う会議に参画し在宅医療にどのようにかかわっていくか研修。</p> <p>【手順】 平成28年より始まった埼玉よりい病院を会場にして行われる「医療連携セミナー」に参画して医師、行政や多職種、介護福祉関連の事業者様などさまざまな分野の皆様と交流させていただき、まずは残薬対応から連携の実績を目指します。</p>	「お薬のこと薬剤師にご相談ください」のパンフレットを作成し会員薬局や他職種の会議の時に配布します。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	在宅医療が円滑に展開されるよう、在宅医療にかかわる医療と介護の関係者の連携を図ります。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】在宅医療の専門部会で課題の検討</p> <p>【対象】 行政、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業者</p> <p>【方法】 医療介護の両従事者の連携により事業を推進する</p> <p>【手順】 医療介護の従事者による検討会で、在宅医療に関する課題の抽出を行い、解決方法について検討する。</p>	

実施機関	本庄市	
現状・課題等	多くの高齢者は疾病や要介護状態になっても、出来る限り住み慣れた地域で自分らしい生活をしたいと希望している。本庄市児玉郡医師会を中心とした在宅医療連携拠点事業、本庄市児玉郡歯科医師会を中心とした在宅歯科医療推進窓口地域拠点、各関係機関における役割機能や連携のあり方等を含め調整・検討を行う中で、地域の医療・介護の関係者の連携体制構築を図っている。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅医療・介護連携推進事業 【対象】 在宅医療・介護の両方を必要とする市民およびその家族 【方法】 ・地域の医療・介護の資源を把握し情報を更新する 【手順】 ・広報やHP等で周知を図る。	会議や研修、講演会の開催をとおして、相談支援体制、連携体制を構築する。

実施機関	深谷市(長寿福祉課)	
現状・課題等	介護保険法改正に伴い、在宅医療・介護連携推進事業を実施しているが、市内の医療関係者や介護職員等の連携を図る機会はまだまだ少なく、課題もみられた。深谷市における在宅医療と介護部門の連携を図るための課題の抽出と対応策の検討が必要となっている。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅医療・介護連携推進会議 【対象】 医師、歯科医師、薬剤師、包括、ケアマネ協議会、訪問看護、保健所等 【方法】 年4回程度 【手順】 地域の医療・介護関係者が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出と対応策を検討する。	在宅医療・介護連携推進会議開催数

実施機関	美里町	
現状・課題等		
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 障害者歯科相談医制度 【対象】 障害(児)者・要介護高齢者 【方法】 【手順】	障害者歯科主任相談医との連携を図る。

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	地域支援事業『在宅医療・介護連携推進事業』の8項目のうち、「(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討」「(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進」「(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援」「(オ)在宅医療・介護連に関する相談支援」の4項目を効果的・効率的に実施できるよう郡内市町で連携調整を図っている(郡市医師会への業務委託。在宅医療連携拠点の市町村移行に向けての協議を含む)。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅医療・介護連携推進事業(イ)～(オ)の郡内連携実施に向けての調整(在宅医療連携拠点の市町村移行に向けての協議を含む) 【対象】 本庄市児玉郡医師会と本庄市児玉郡の4市町 【方法】 ①担当課長会議及び実務担当者会議に参加。 ②郡市医師会との移行に向けた協議に参加。 【手順】 ①在宅医療・介護連携推進事業の実施に向けて、郡内4市町で打ち合わせ会議(担当課長会議および実務担当者会議)を行い、委託内容(郡市医師会への業務委託。在宅医療連携拠点の市町村移行に向けての協議を含む)等、効果的・効率的な連携実施に向けて検討を積み重ねる。 ②①で得られた検討内容を基に郡市医師会との協議を行う。	郡市医師会及び郡内市町と協議・連携を重ね、平成30年4月から市町村で事業実施ができる。

実施機関	神川町	
現状・課題等	在宅医療・介護連携の推進については、現状では本庄市・児玉郡圏域を中心に整備された拠点と連携し、支援ベットの確保やICTネットワーク構築による関係機関の情報共有・連携作業など段階的に進められている。また拠点を平成30年度市町村からの委託へ移行するために関係市町村と協議を勧める。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 地域支援事業(在宅医療・介護連携の強化) 【対象】 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者 【方法】 居宅に関する医療・介護の連携を強化する 【手順】 情報共有、関係者の資質向上、提供体制安定化、住民へ普及啓発等	平成30年度、医師会に拠点を委託し、運営する。

実施機関	神川町	
現状・課題等	障害者歯科相談医制度について十分に周知されていない。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 障害者歯科相談医制度周知 【対象】 障害(児)者、難病患者等 【方法】 広報誌・HP掲載・窓口PR 【手順】 相談時に障害者歯科医を紹介	障害者歯科相談制度について知り、診療を受けたい障害者や要介護者が早期に受診できる。

実施機関	上里町	
現状・課題等	障害者在宅医療については体制が十分には整備されていない。歯科診療については随時相談を受け、必要に応じて埼玉県障害者歯科相談医制度の利用を勧めている。障害者の方が治療を受けるために、遠方の病院等をかかりつけとしていることが多い。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 埼玉県障害者歯科相談医制度 【対象】 障害者、難病患者 【方法】 周知方法: 広報・ホームページ等 【手順】 ①障害福祉担当へ電話または窓口での相談 ②障害者歯科相談医の紹介 ③受け入れ先がない場合、主任相談医へ連絡し調整してもらう。 ④主任相談医から紹介された相談医を本人・家族に伝え、予約・受診してもらう。	障害児・者が身近な地域の歯科医院でも安心して治療を受けられるようにする。(利用件数)

実施機関	寄居町	
現状・課題等	往診など対応できる医療機関が少ない。在宅医療が円滑に実施されるための環境整備が必要。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅医療啓発事業 【対象】 全住民 【方法】 在宅医療に関する情報の収集を行い、住民への啓発に努める 【手順】	在宅医療に関する情報の収集と発信

実施機関	寄居町	
現状・課題等	関係者間の連携体制が維持・確保できるよう、環境整備に努める。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 寄居町 【対象】 全住民 【方法】 関係者と情報を共有し、相互理解を深める。 【手順】 研修会・会議への参加	研修会・会議への参加

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	超高齢化社会に向けて、地域包括ケアシステムの構築が課題となる。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅医療専門部会の開催 【対象】 医療・介護関係職員 【方法】 会議・研修会の開催 【手順】 年度内2回の専門部会を開催する 在宅医療・介護連携推進研修会の開催	在宅医療・介護連携の推進

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	人工呼吸器等医療機器を使用している難病患者の療養実態の現状把握や地域の医療介護等の関係者との連携のもとに、療養環境整備をすすめていくことが課題である。 本年度は、難病対策地域協議会を設置し療養環境整備をすすめる。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅難病患者等関係者会議 【対象】 在宅難病患者に対する支援を行っている関係職員 【方法】 研修及び難病対策地域協議会の開催 【手順】 年2回	医療機関等の連携による相談体制の充実と療養生活支援による患者の不安の軽減

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	在宅療養者の摂食や嚥下に対応した安全な食事の提供は、低栄養の防止と治療効果を高めるための重要課題である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 摂食や嚥下機能に対応した食支援研修会 【対象】 医療・介護保険に関わる専門職 【方法】 研修会の開催 【手順】 年1回	摂食や嚥下に対応した安全な食事の提供の理解

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	地域包括ケアシステム構築に向けて管内関係機関の看護職の連携強化が必要である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 管内地域看護連携会議 【対象】 医療機関、地域包括支援センター、市町、保健所の看護職等 【方法】 情報交換及び現状・課題の検討、情報ツール(退院連絡票等)共有など 【手順】 会議 年2回、訪問看護連絡会 年3回	地域包括ケアシステム構築を目指し、地域の看護職連携と人材育成を強化

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	在宅医療の推進に向けて、地域住民への普及啓発を図っていく必要がある。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 在宅医療推進研修会 【対象】 管内一般住民 【方法】 研修会の開催 【手順】 管内市町、関係機関と連携して開催する。	地域包括ケアシステム構築を目指し、地域の一般住民への在宅医療について啓発

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	在宅医療・介護を担う多職種の協働により、患者が住み慣れた地域で介護と連携した在宅医療を受けられる連携体制を構築すること。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】在宅医療・介護連携推進専門部会の開催 【対象】 【方法】 } 熊谷保健所と共通 【手順】	在宅医療・介護を担う多職種間の連携

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	在宅医療・介護を担う多職種の協働により、患者が住み慣れた地域で介護と連携した在宅医療を受けられる連携体制を構築するための課題・問題等を共有すること。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】在宅医療推進のための研修会の実施 【対象】医師会、在宅医療拠点、病院地域連携室、地域包括支援センター、介護関係職員、市町等 【方法】多職種地域連携を図るため、研修会を実施する。 【手順】多職種における各関係機関相互の意見交換、課題・問題点の共有等	在宅医療・介護を担う多職種間の連携

事業名 精神疾患医療

目 標 イベントや広報などを通じて、心の健康づくりに関する市民への普及啓発を進めます。また、行政と民間が協働して地域・職場における自殺対策を推進します。認知症対策としては、住民や医療関係者などに対する認知症の理解を促す取組を進めるとともに、地域ケア体制の充実を図ります。

主な取組 ■心の健康づくりに関する普及啓発
 ■自殺対策の推進
 ■認知症対策の推進

実施主体: 保健所、市町、医師会、歯科医師会、精神科病院、各種職能団体、企業、地域住民

平成29年度 北部保健医療圏圏域別取組実施計画

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 市民健康フォーラムなどにおける健康相談 【対象】 一般市民 【方法】 10月22日(日)に実施予定の第16回市民健康フォーラムにおいて、健康相談窓口を開設し、市民に指導、啓発を行う。 【手順】	

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	埼玉県歯科医師会地域保健委員会からの情報提供を受けているが、特別な取り組みは行っていないため、今後検討していきたい。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 【対象】 【方法】 【手順】	

実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	認知症に対する理解を深め、精神症状や問題行動に対して、地域ケア体制の整備を進める。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 認知症対象スキルアップ研修会 【対象】 埼玉県歯科医師会会員 【方法】 研修会の開催 【手順】	研修会参加者の増加

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	心の健康づくりに関する市民への普及啓発に努めるとともに、相談事業を推進します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 精神保健相談 【対象】 市民 【方法】 市民からの電話連絡等により、保健師が電話・面接・訪問で対応する。 【手順】	相談者数 1,950人
	【事業名】 こころの健康相談 【対象】 心の健康に問題の生じた本人や家族、関係者(通院中の方を除く) 【方法】 臨床心理士による個別相談 【手順】 月2回 予約制	相談者数 48人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	自殺予防対策の一環として、こころの体温計の利用について、啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 こころの体温計 【対象】 市民 【方法】 市民が携帯電話やパソコンを利用してストレス度などをチェックし、うつ病等のメンタル面の問題に対し気軽に相談できる窓口が案内されるシステム 【手順】	アクセス件数 35,000件

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	自殺予防に関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 精神保健の健康教育 【対象】 市民、民生委員・児童委員 【方法】 市民からの依頼や民生委員・児童委員協議会の場を利用して、保健師による講話を実施 【手順】	参加者数 550人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	精神障がい者に対し、健康面・栄養面等での指導を行い、社会復帰を支援していきます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 社会復帰支援 【対象】 社会復帰施設を利用している精神障がい者 【方法】 施設に保健師・栄養士が出向き、健康教育を行う。 【手順】 施設からの希望により実施	参加者数 200人

実施機関	キャラバン・メイト、熊谷市	
現状・課題等	認知症サポーター養成講座を64回開催、2,629人受講。(認知症サポーター総数16,056人)うち、小中学校15校開催。認知症サポーターステップアップ講座を1回開催、45人受講。(H28年度現在)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 認知症サポーター養成講座 【対象】 市内在住、在勤の方 【方法】 キャラバン・メイトから講師を派遣し、認知症サポーター養成講座を開催する事により、参加者に認知症に対する正しい理解の普及・促進を図る。また、更に認知症への理解を深めるため、認知症サポーターステップアップ講座を開催する。 【手順】	市内の全小中学校を対象に認知症養成講座を開催する(平成29年度末までに)。認知症サポーターステップアップ講座を開催する。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	市内の事業所、各庁舎内に介護マークを設置。また、市民への貸し出しを行っています。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 サポーター・タグ普及事業 【対象】 市内の事業所及び市民 【方法】 当事業の趣旨に賛同し、認知症サポーター養成講座を受講された事業所に対し、介護マーク(サポーター・タグ)を設置する。また、認知症高齢者等を介護している方に介護マークを貸し出し、周囲に介護中であることをさりげなく知ってもらうことで、介護者の心理的負担の軽減を図る。 【手順】	より多くの事業所に設置してもらい、認知症の方や介護する方が外出しやすい環境を作る。

実施機関	認知症地域支援推進員、熊谷市	
現状・課題等	熊谷市役所内で毎月第4木曜日に認知症相談窓口を設置	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 認知症介護相談 【対象】 市民 【方法】 市役所内に認知症に関する相談窓口を設置し、認知症地域支援推進員が相談員として対応する。HPや市報を通してPRしていく。 【手順】	認知症に対する相談窓口の普及を図る。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	認知症の早期発見のため、認知症簡易チェックサイトを設置し利用を啓発します。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 認知症初期スクリーニングシステム 【対象】 市民 【方法】 携帯やパソコンからアクセスし、認知症の状態をチェックし、相談先の案内を掲載している。 【手順】	アクセス数15,000件

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	各医療機関と連携を図りながら、受診率の向上に努めます。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 もの忘れ検診 【対象】 昭和22年4月2日～昭和23年4月1日生まれ(70歳)の市民の方 【方法】 市内66医療機関にて個別検診 【手順】 実施期間:6月～3月。対象者に受診券を送付。	受診率30%

実施機関	本庄市	
現状・課題等	社会環境の変化や価値観の多様化に伴い、「うつ」への対応をはじめとする、心の健康づくりを推進していくことが求められている。また、本市における自殺者数は、年度によるバラつきがあるものの、大切な命が失われており、悩みを持つ人に早い段階で気づき、適切な支援に繋げることを目的にゲートキーパー養成に取り組んでいる。また、命の大切さや思いやりの心を育成できるように、コミュニケーション講座を実施する。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 自殺対策緊急強化事業 【対象】 市民・小学5年生・市職員 【方法】 市職員を対象とした自殺対策、予防に関するゲートキーパー養成研修を行う。市民向けに、自殺の一因となりえるメンタルヘルス悪化の予防を図るため、また、小学校5年生とその保護者を対象に、命の大切さや思いやりのこころを育成できるようにコミュニケーション講座を開催する。 【手順】 広報等での周知をはかるとともにHPの見直しを行う。専門講師を招いてゲートキーパー養成講座及び心の健康づくり講座を実施する。	ゲートキーパーの増員や市民への啓発により、悩みを抱える人に対する「気配り・気づき・声かけ・傾聴・つながり・見守り」を実践し、自殺抑制につなげる。

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	精神的不安、対人関係、性格、お酒、閉じこもり、その他家族・職場等での悩み、医療などについての相談を受け、精神疾患や精神的な不健康の状態に適切に対応できるよう支援する。利用実人数は年間10～20人程度で本人からの相談より対応に困っている家族からの相談が多い。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 こころの健康相談 【対象】 こころの健康に問題が生じたかたやその家族 【方法】 精神科医師、保健師による相談(要予約) 【手順】	必要としている人が、相談に結ぶつよう事業の周知を図る。

実施機関	深谷市(保健センター ※熊谷保健所、熊谷市、寄居町共催)	
現状・課題等	精神疾患を抱える家族を対象とした家族教室や地域住民に対しての精神疾患の講座及び講演会を実施し、当事者や家族が安心した暮らしができるよう支援することを目的とし実施している。(平成28年度から実施)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】精神保健福祉講座(アルコール関連) 【対象】熊谷保健所管内の住民 【方法】アルコールについての講話等 【手順】	参加者数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	自殺は多くが追い込まれ末の死であり、社会的な問題であると捉え、様々な分野でのゲートキーパーの養成を図ること、また自殺予防について啓発をすることが必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】ゲートキーパー養成講座、自殺予防パネル展示 【対象】ゲートキーパー養成講座:民生委員、自殺予防パネル展示:市民 【方法】<ゲートキーパー養成講座>講師:県立精神保健福祉センター職員 【手順】<パネル展示>保健センター、市役所ホール等	・ゲートキーパー養成人数 ・パネル展示開催数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	ストレス社会といわれる現在、心の病に罹る人が増加しており、心の健康づくりや対応についての正しい知識の普及・啓発が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」、講演会 【対象】市民 【方法】<「こころの体温計」の周知(広報、市ホームページ、メール配信、チラシ等) 【手順】<講演会>こころの健康をテーマに開催(ポピュレーション)	・「こころの体温計」の周知 ・講演会参加人数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	自殺対策計画を策定し、行政、市民、関係機関が協働して自殺対策に取り組む必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】深谷市自殺対策計画策定 【対象】市民 【方法】市計画策定に向けて国県計画の策定状況や深谷市の現状について情報収集を行う。 【手順】	自殺対策計画策定に向けた取組み開始

実施機関	深谷市(長寿福祉課)	
現状・課題等	高齢化に伴い認知症のかたが増加しているが、地域の中では認知症の理解が広がっていない。地域全体で認知症の理解を深め、認知症のかたや家族を支えていく取組みが必要になっている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】認知症サポーター養成講座 【対象】団体名:深谷市 【方法】講義形式(60分~90分の講座) 【手順】深谷市まごころ出張講座のメニューに登録し、幅広い市民のかたを対象に認知症サポーター養成講座を実施する。	認知症サポーター養成講座受講者数

実施機関	深谷市(長寿福祉課)	
現状・課題等	認知症の人とその家族や地域住民、専門職がつながり、集うことで、認知症の人への理解の啓発、家族の介護負担の軽減を図り、かつ地域で認知症の人を支える一助とする。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 認知症カフェ 【対象】 認知症のかたやその家族、認知症に関心のあるかたや以前に介護経験のあるかた 【方法】 体操(体、口腔)、歌、ミニ講座、話し合い、介護相談、リラクゼーションケア等 【手順】 参加希望の認知症カフェに直接来所	市内の認知症カフェ実施箇所数

実施機関	美里町住民福祉健康課住民福祉係	
現状・課題等	自殺者数は減少傾向にあるものの、今後においても引き続き、適切な自殺対策を図る必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 美里町自殺対策推進検討委員会の設置および会議の開催 【対象】 庁内関係部署職員で構成する委員会の設置 【方法】 委員会設置要綱の制定および会議の開催 【手順】	

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	複数の職種が入ることで、色々な視点でケースを見ることができる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 ケース検討会議 【対象】 【方法】 保健所、障害者生活支援センター職員、町障害者担当、町保健センター、町社会福祉協議会臨床心理士で年6回、各担当ケースについて検討する。 【手順】	情報の共有 担当職員の負担の軽減

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 健康まつり こころの健康づくりコーナー 【対象】 来場者 【方法】 メンタルチェックカードの配布 相談窓口の掲示 【手順】	心の悩みを持つ人たちへの相談窓口の周知を図る。

実施機関	美里町社会福祉協議会	
現状・課題等	町の相談窓口として、より気軽に利用していただき、問題の早期介入・予防に努めたい。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 臨床心理士による「こころの相談窓口」 【対象】 町民 【方法】 広報・パンフレット 【手順】 原則、月5回の相談窓口と必要に応じて要援護者宅への家庭訪問	不安を抱える人々の心の健康維持

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	認知症サポーター養成講座の継続により、さらなる住民への周知を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 認知症サポーター養成講座 【対象】 町民・団体・企業など 【方法】 広報・パンフレット等で募集。認知症の正しい理解と、認知症の人とその家族を温かく見守る人材の養成。 【手順】 キャラバンメイトによる認知症に関する基本的な学習講座	サポーター一年100人の養成と認知症についての理解を更に深める事業の開催

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	認知症の人を介護する家族の交流の場の継続支援を行う。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 認知症高齢者等介護家族のつどい 【対象】 在宅で認知症高齢者の方を介護されている家族 【方法】 認知症の方を身近で支える介護者相互の交流の場づくりを支援。介護家族の悩みなどを話すことで身体的・精神的負担の軽減を図る。 【手順】 広報・チラシ等で事業実施の周知を行う。アドバイザーを招き、日頃の悩みに助言を頂く。参加者同士の意見交換や交流の場・息抜きの場としてもらう。	介護家族の方の精神的負担の軽減と情報交換が行える。

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	認知症の早期発見を目的として実施。すでに認知症を発症している方の相談や認知症について情報を知りたい方の相談も増えている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 脳の元気度チェック&相談会 【対象】 町内在住の認知症の心配がある方または家族 【方法】 毎週火曜日(祝日は除く)、午前9時30分～午前11時30分。個別相談(予約制)。簡単なアセスメントを行い、認知症の可能性を評価する。相談内容に応じた生活支援の助言を行う。認知症の早期発見と家族への支援を目的とする。 【手順】 広報及びくらしのカレンダーやチラシにて周知。予約制で個別に相談を受ける。生活上の助言を行うとともに、必要に応じて専門医療機関の紹介や制度の利用につなげる。	認知症の早期発見及び相談の場として町民にさらに周知し、気軽に利用できるよう促していく。

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	現在、認知症初期集中支援チームは稼働していない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 認知症初期集中支援事業 【対象】 40歳以上で在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で、以下の1または2のいずれかの基準に該当する者 1 医療サービス、介護サービスを受けていない者、又は中断している者で以下のいずれかに該当する者 (1) 認知症疾患の臨床診断を受けていない者 (2) 継続的な医療サービスを受けていない者 (3) 適切な介護保険サービスに結び付いていない者 (4) 介護サービスが中断している者 2 医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している者 【方法】 相談に応じて、初期集中支援チームの個別訪問を行い、サポート医による診断を踏まえた観察・評価により認知症初期の本人・家族の支援を集中的に行う。 【手順】 相談受付後、「認知症書記集中支援チーム事業フロー図」に従い、支援を行う。	認知症の早期発見ツールとして町民に周知徹底し、理解(及び利用)を促していく。

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	徘徊高齢者の見守り支援機能を強化する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 見守りシール、キーホルダー交付事業 【対象】 町内在住高齢者で認知症等見守りが必要な方 【方法】 申請に基づき、希望者に見守りシール及びキーホルダーを交付する。 【手順】 広報等で周知を行い、希望者の申請に基づき、見守りシール及びキーホルダーを交付する。見守りシール及びキーホルダーに附番することで、徘徊先で身元が特定できない場合に、番号から身元が特定。併せてご家族に連絡。	見守りシール、キーホルダーを作成し、見守り支援体制を整える。

実施機関	神川町	
現状・課題等	介護認定を受ける高齢者のうち認知症患者を持つ方が、40%を占め、要介護度も軽度の方が多。そのような状況において、認知症に関する相談も多く、徘徊による行方不明になるケースも見られ、正しい知識の普及が重要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 認知症サポーター養成講座 【対象】 小学生～中学生・一般成人 【方法】 キャラバンメイトによる講習 【手順】 ①小学生～中学生 ・包括支援センターが各学校の授業にてサポーター養成講座を開催。 ②一般成人(高校生以上) ・広報紙等で呼びかけサポーター養成講座を開催。 ③昨年度養成講座受講者へのステップアップ講座開催。 ④啓発用DVDを作成し、公共機関や薬局等の待合で放映。	認知症患者の正しい知識の習得者の増員、および地域支援者の拡大。

実施機関	神川町	
現状・課題等	介護認定を受ける高齢者のうち認知症の疑いのある方が、60%を占める。そのような状況において、認知症になっても住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活ができる受け皿の1つとして展開する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 認知症カフェ(なっちゃんカフェ) 【対象】 認知症の方、介護者、その他どなたでも参加可能。 【方法】 認知症応援隊の協力を仰いで実施。 【手順】 ・おやつ作りやレクリエーション等を通しての交流を行う。 ・毎月第1水曜日午前10時30分から開始。 ・送迎無料 ・参加費 100円	

実施機関	神川町	
現状・課題等	精神障害者とともに暮らす家族の負担は長期にわたり、将来に対する不安など、家族同士が共有する問題も多くあると思われ家族を支援する体制が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 家族会 【対象】 精神疾患の家族 【方法】 家族が集まり情報交換及び勉強会 【手順】 2ヶ月に1回実施。福祉課窓口で対象者へチラシを配布し参加者を募る。	参加者を増やす。

実施機関	神川町	
現状・課題等	当町は県内でも自殺による死亡率が高く、県内平均をはるかに上回っている。また、自殺の原因の約70%は健康問題である。	
29年度	実施内容(事業名、対象、方法、手順等) 【事業名】 自殺対策緊急強化事業 【対象】 ・児童民生委員・小中学校養護教諭・議会議員・会議支援ボランティア ・いきいきサポーター 【方法】 専門講師を招いてのゲートキーパー養成講座の開催。 【手順】 専門講師による講話。パンフレット配布。	目標(評価の指標) 地域での見守り体制を整えるため、早期対応の役割を担う人材育成を図る。

実施機関	神川町	
現状・課題等	こころの相談窓口の周知及び支援体制を整える。	
29年度	実施内容(事業名、対象、方法、手順等) 【事業名】 こころの健康相談 【対象】 地域住民 【方法】 広報・ホームページ等により相談窓口の周知。保健師等による相談。 【手順】 広報・ホームページ等に相談窓口の掲載。	目標(評価の指標)

実施機関	上里町	
現状・課題等	自殺に関する正しい知識を普及し、その知識を基に家族だけではなく地域の身近な人も見守れる人材を増やす必要がある。	
29年度	実施内容(事業名、対象、方法、手順等) 【事業名】 埼玉県自殺対策緊急強化交付金事業(ゲートキーパー養成講座) 【対象】 町内で活動されている民生委員、ボランティア等 【方法】 ゲートキーパー養成講座 【手順】 自殺対策についての知識や対応方法を学ぶ講座とする。講座で学んだ知識を、地域で活動する中で活用してもらう。	目標(評価の指標) 地域で活動している方々が、自殺に関する相談の初期対応を学び、理解する機会を設けることで、身近な人を見守れる人材を増やす。 (講座参加人数)

実施機関	上里町	
現状・課題等	自分の心の状態を知る簡易チェックシステムとして、こころの体温計をホームページに掲載。アクセス件数は横ばいの状況で、月平均800件の実績が続いている。	
29年度	実施内容(事業名、対象、方法、手順等) 【事業名】 こころの体温計 【対象】 町民及び町民以外 【方法】 上里町のホームページに簡易メンタルヘルスチェックシステムを掲載することにより、自身のストレス度合等を確認する機会をつくる。 周知方法: 広報掲載やチラシの配布等 【手順】	目標(評価の指標) 上里町のホームページを見た人が自身の心の状態を知り、悩みや問題に気づくことで心の病気の予防につなげる。 (アクセス件数)

実施機関	寄居町	
現状・課題等	精神科医医療機関が町内に1か所しかない。身近な相談機関が少ない。	
29年度	実施内容(事業名、対象、方法、手順等) 【事業名】 心の健康づくりに関する普及啓発事業 【対象】 全住民 【方法】 広報への掲載・心の健康相談の実施 【手順】	目標(評価の指標) 事業の継続

実施機関	寄居町	
現状・課題等	自殺対策に関する計画がない	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 自殺対策事業 【対象】 全住民 【方法】 自殺対策に関する計画の策定 【手順】	計画の策定

実施機関	寄居町	
現状・課題等	認知症予防への取り組みが必要	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 認知症対策事業 【対象】 65歳以上の住民 【方法】 タブレット端末を使用して認知症予防のトレーニング教室の実施 【手順】 広報等を通じて参加者を募集し、1コース12回程度実施する。	認知症予防に対する理解と意識の向上

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	心の病気に対する誤解や偏見は根強くあるため、心の健康について広く普及啓発する必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 精神保健福祉講座 【対象】 一般県民、関係者、当事者、家族等 【方法】 講座の開催 【手順】 管内市町と共催 市報・行政HP・チラシ等で周知 3回開催(統合失調症・うつ病・アルコール依存症)	一般県民等の心の病気に対する誤解や偏見の解消。

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	自殺対策は長期的に取り組む必要があるが、相談対応職員の異動等で知識や経験が積み重なっていかない。対人保健サービスを提供する職員の相談技術のスキルアップは毎年必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 保健福祉相談研修 / 小児精神保健研修会 【対象】 市町等の相談対応職員・教職員 【方法】 研修の実施 【手順】 通知・チラシ等で周知	管内の相談対応職員の相談対応スキルの向上

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	老年期の精神疾患は、認知症と他の疾患の区別がつきにくく適切な医療機関受診が遅れがちである。居宅介護支援事業所、訪問看護、地域包括支援センター等の在宅療養支援者のアセスメント力、対応スキルの向上を図る必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 精神保健在宅療養支援者研修 【対象】 管内の在宅療養支援者(居宅介護支援事業所、訪問看護、地域包括支援センター等の職員) 【方法】 研修の実施 【手順】 通知・チラシ等で周知 2回実施	在宅療養支援者のアセスメント力、対応スキルの向上

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	不登校の者が学校を卒業したのち地域社会でひきこもりへと移行することが考えられる。そこで本人のライフサイクルに合わせ重層的に支援をしていく必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 ひきこもり対策事業 【対象】 不登校・ひきこもりにかかわる関係機関等 【方法】 啓発普及や知識伝達の研修会 【手順】 関係機関等に周知し研修会を実施 講演:平成29年10月「発達や発育の理解と対応について」 講師:嵐山コロニー 早川医師 会場:早稲田リサーチ	ひきこもる状態やひきこもる者の理解とその支援について正しい知識と新しい情報の提供をする。

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	主に統合失調症で治療を継続している者の家族が集い、友愛の心で共感し、お互いに学びあう関係の中でその個人と家族会が成長し、支えあえる自助の関係構築ができるよう支援する	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 家族による家族の学習会(ピア事業)と家族同士の交流会 【対象】 おもに統合失調症を治療している者のいる家族 【方法】 同じ境遇の者同士で行う学習会と集う話し合いのできる場の設定 【手順】 定例の家族同士の交流会の設定と同じ境遇同士で学びあう学習会の実施 研修会:7月～11月まで毎月1回「家族による家族のための家族学習会」 講師:研修のために事前学習を終えた家族 会場:アスピア児玉	家族会の者が5回の講座に責任を持ち実施でき自信を深め聴講の家族の勇気につながり家族会員が増加する。

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	うつ病などの疾病によりに生活不安になるものや疾病がなくとも日常に生きにくさを感じている者などの気持ちを和らげる知識の普及や新しい気付きを感じる学習会を実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 精神保健福祉に関する学習会 【対象】 一般住民を中心に管内在職者など 【方法】 研修会 【手順】 本庄市と共催し、広く周知し実施 講演:平成29年10月下旬「生きにくさの理解と改善」の講義 講師:埼玉医科大学 庄野伸幸准教授 会場:早稲田リサーチパーク	疾病に特化せず地域メンタルヘルスの向上とし住民及び関係者の多数の聴講を目指す。

事業名

健康増進・生活習慣病予防対策

目標

地域住民、関係団体、行政機関が連携し、市町健康増進(食育推進も含む)計画の策定や見直しを実施し、健康づくりを進める体制を整備します。生活習慣病の予防や重症化予防に関する情報や、各種検診の内容に関する情報を積極的に提供しながら、未受診者への健診受診等を推進します。また、定期的な歯科健診の受診を勧奨するなど歯科口腔保健を推進します。

主な取組

■各市町健康増進・食育推進計画策定及び推進体制の整備

■生活習慣病に関する情報提供、健康診断等の受診勧奨

■歯科口腔保健の推進

実施主体:市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域住民、保健所

平成29年度 北部保健医療圏圏域別取組実施計画

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】 特定健診及び各種検診の実施、市民健康フォーラムの実施</p> <p>【対象】 一般市民</p> <p>【方法】 特定健診、各種検診の円滑な実施に努めるとともに、市民健康フォーラムなどにより、市民への啓発活動を行う。</p> <p>【手順】</p>	

実施機関	本庄市児玉郡医師会	
現状・課題等	平成29年7月にオープンする健診センターでは、本庄市限定であるが通年で実施するため受診者の利便性の向上とともに受診率が上がり、住民の健康増進に寄与できると考える。また、以前より一日当たりの受診者数を制限しているため、待ち時間等を少なくすることができる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】 各種健診・検診の受診率向上</p> <p>【対象】 行政、医師会、健診センター職員</p> <p>【方法】 行政と医師会との検討会の開催</p> <p>【手順】</p>	次年度に向けて更なる受診者の利便性の向上を図る。健診センター設立初年度における課題の検討。

実施機関	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】 深谷寄居医師会広報誌</p> <p>【対象】 会員医療機関受診者・来所者</p> <p>【方法】 「イキイキふかや・よりい」の配置</p> <p>【手順】 会員診療所窓口等に設置</p>	年2回発行 地域住民向け医療情報広報

実施機関	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】 特定健康診断</p> <p>【対象】 被保険者、被扶養者等</p> <p>【方法】 特定健診で指導対象者に特定保健指導を行う。</p> <p>【手順】 通年</p>	随時、特定健康診断を行い、受診率アップを図る

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	歯の相談室。29年度は参加幼児、児童数406名+家族。年々参加者も増加している。「8020良い歯のコンクール」受賞者35名。8020達成者は年々増加している。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 第41回「歯の相談室」、8020よい歯のコンクール 【対象】 熊谷市及び近隣市町村の住民 【方法】 イベントを開催 【手順】	イベントを通じて、口腔の健康の意義を啓発する。8020達成者は増加。今後は質が問われる。

実施機関	熊谷市、(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	周知の徹底と受診手続きの簡素化を図ったところ、受診率UPしている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 歯と口の健康診査 【対象】 市内に住所を有し、対象年齢に達する方 【方法】 歯科医療機関での健診 【手順】 受診票を該当者に送付し、各診療室に持参して頂く方法に変更。	定期的な健診を継続していくことで、口腔の健康を維持していく。

実施機関	JA ひびきの、本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	口腔周囲筋の低下により、正しい呼吸、正しい歯並び、正しい嚥下ができない問題が起こっている。また、虫歯予防の為、フッ化物を利用した予防法について正しい理解をして頂くことを目標としている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 赤ちゃんから始める お口の中から健康づくり 【対象】 乳幼児を含む親子 【方法】 本庄市児玉郡歯科医師会と児玉郡JAひびきのとの協力により、乳幼児を含む親子を対象に、母乳で育てることの重要性を説明、NUKのおしゃぶりをを使って口腔周囲筋のトレーニングの実践。また、う蝕予防のフッ化物についての有効性、安全性についても説明。 【手順】	乳幼児期において、口腔周囲筋を鍛えることにより、正しい呼吸、嚥下、歯並びを獲得することを目標とする。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	少子化社会における子供たちの健康は、日本の今後の社会の礎となる。平成29年度より、神川町でも妊婦歯科健診が行われることとなった。本庄市、美里町も需要が高い健診なので、続けて行って頂きたい。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 上里町 神川町 妊婦歯科健診 【対象】 上里町、神川町に住民票がある妊婦 【方法】 【手順】 既に対象者に配布されている問診票および健診票を提出し、結果を母子手帳に記載し返却。	妊婦歯科健診の周知、受診率の向上を目標と健康の保持、増進に努めたい。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	30歳以上の成人の80%以上が歯周疾患に罹患しており、歯の喪失原因の第1位で、全身に悪影響を及ぼしていることを理解されていないのが現状です。痛みがないので軽視してしまう傾向が問題です。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 歯周疾患検診 【対象】 本庄市児玉郡の住民で節目年齢の方(各市町で年齢幅が指定されている) 【方法】 各市町での広報等で、周知して頂き、歯科医師会指定の歯科医院での個別歯科健診 【手順】 各市町保健センターからの決められた歯科健診票に沿って検診を施行結果についてもその場で判定し、今後の受診進めや、注意事項の説明を行う。	全身と歯周病の関係を理解して頂き、受診率のUPと健康の保持、増進を目的とする。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	毎年の恒例行事となっている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】上里ふれあい祭り 8020運動よい歯コンクール表彰式 【対象】 地域住民 【方法】 オーラルヘルスプロモーション 8020表彰式 【手順】 歯ブラシ指導、口腔機能検査、ウ蝕活動試験、咀嚼能率テスト、フッ化物体験。	歯科医師会の活動として十分に周知して頂けた。歯の健康についての関心を今まで以上にしたい。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	平成28年度より新たな事業として2回目を向かえる	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】神川コスモスマつり 8020運動よい歯のコンクール表彰式 【対象】 地域住民および80歳で20本以上の神川住民の高齢者 【方法】 オーラルヘルスプロモーション 8020表彰式 【手順】 歯科医師会のブースを設け、住民の皆様に様々な歯科の検査、体験、見学をしてもらい関心を持って頂く。また8020表彰式を行い活動を周知して頂く。	8020表彰に加え、歯科医師会コーナーを設け、住民の方との触れ合いを目指す。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】本庄市8020 よい歯のコンクール表彰式 【対象】 80歳以上で20本以上ある方(住民票が本庄市にある方) 【方法】 歯科健診(8020専用歯科健診票) 【手順】 歯科医師会推薦の方を対象者とし、毎年交互に本庄、児玉8020表彰を行う。また、同時に歯科講演会も実施する。	高齢化社会にともない、特に後期高齢者の健康を保持、増進させるための大きな活動。

実施機関	本庄市 上里町 神川町 本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	小中学校におけるフッ化物洗口が浸透し結果が出始めている。美里町も実施してもらいたい。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】本庄市 上里町 神川町 フッ化物洗口 【対象】 上記の小中学校 【方法】 週1回法、フッ化物洗口 【手順】 予め、決められた用途、用法(管理も含む)にて実施。歯科医師会指導済。	DMFT指数が年を重ねるごとに良い結果が出ている。更に良くなっていくように継続していく。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	美里町の毎年恒例の行事	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】健康まつり「8020運動よい歯のコンクール」表彰式 【対象】 美里町を中心とした住民の方 【方法】 8020専用健診票にて健診 【手順】 本庄市児玉郡歯科医師会推薦の対象者。	健康まつりでの8020運動表彰式なので、これをきっかけに健康への関心を持って頂きたい。

実施機関	寄居町・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	歯科口腔保健推進計画を踏まえ、定期的な歯科健診受信者の減少に歯止めを掛け、地域住民に歯科保健の重要性を啓発する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】むし歯・歯周病予防イベント 【対象】就学前小児と保護者・成人 【方法】歯科健診・相談により歯科保健の重要性を普及・啓発 【手順】	イベント参加者の増加

実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	地域住民の健康長寿を達成するため、日本歯科医師会の推進する「8020運動」を普及	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】8020よい歯のコンクール 【対象】80歳以上で20本以上残存歯のあるお年寄り 【方法】歯科医師会会員の診療所、または保健センターからの推薦を受け当該患者さんの表彰を行う。特に優秀な方は、埼玉県歯科医師会に推薦し、表彰を行う。 【手順】	受賞者の増加

実施機関	各市町村・広域連合・埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	地域の歯科口腔保健の推進	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】節目健診、健康長寿健診、糖尿病性腎症予防健診の実施協力 【対象】40～70歳5歳ごとの節目、75歳当該者、糖尿病性腎症予備軍当該者 【方法】行政、広域連合等が行なっている上記事業への協力と当該患者さんへの健診、歯科保健指導 【手順】	受診率の向上

実施機関	深谷市・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	定期的な歯科健診受信者の減少に歯止めを掛け、地域住民に歯科保健の重要性を啓発する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】深谷市福祉健康まつり 【対象】地域住民 【方法】歯科健診・相談により歯科保健の重要性を普及・啓発 【手順】	イベント参加者の増加

実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	埼玉県歯科口腔保健計画を踏まえ、小児う蝕予防の推進フッ化物洗口の普及・拡大	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】小児う蝕予防対策事業 【対象】幼稚園・保育所・小中学校 【方法】集団によるフッ化洗口の実施 【手順】	実地施設の増加

実施機関	(一社)熊谷薬剤師会	
現状・課題等	健康増進・生活習慣病の予防に関し、市民に対して生活習慣の改善、健康測定や健診の重要性、薬の適正使用等について啓発する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 薬と健康フェア・産業祭 【対象】 市民 【方法】 市民公開講座の開催、健康測定・健康相談・薬相談の実施 【手順】 生活習慣病に関する講演会の開催や、薬相談・健康相談・各種健康測定を実施し、市民に対して健康増進・生活習慣病予防・薬の適正使用・健診の重要性等について啓発する。	1. 生活習慣病の予防や重症化予防について啓発する。 2. 健康測定・健診の重要性を啓発する。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	健康増進、食育推進について引き続き学ぶ。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 健康増進、食育推進について理解を深める 【対象】 会員 【方法】 定例の勉強会にて、健康増進・食育推進について学ぶ。 【手順】	勉強会に多くの会員に参加してもらい、日常業務においても、健康の大切さを知ってもらう。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	生活習慣病である、高血圧や糖尿病の患者さんは、年々増加傾向にある。重症化予防について学び、知識を普及させる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 地域住民に生活習慣病に対する知識を普及させる 【対象】 地域住民・会員 【方法】 医療機関受診者の検査値や、健康診断の結果をチェックし、必要ならアドバイスをする。 【手順】	健康診断未受診者に対し、受診を勧める。

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	薬剤師会会員の生活習慣病治療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を開催します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 生活習慣病に関する講習会・勉強会を実施します 【対象】 薬剤師会会員 【方法】 薬剤師会会員の生活習慣病治療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を開催します。 【手順】 薬剤師会定期講習会のスケジュールに組み込みます。	

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	生活習慣病予防のための知識の普及啓発に取り組みます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 地域住民に生活習慣病に対する知識を普及させる為、健康まつり等に参加し、生活習慣病相談を実施します。 【対象】 地域住民 【方法】 健康まつりに参加し健康相談・おくすり相談の実施、生活習慣病予防のアドバイスをおこないます。 【手順】 生活習慣(食事・運動など)の改善指導、健康食品の利用により予防のためのセルフケアをすすめます。	

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	進計画策定に携われるのは、学校薬剤師がその担当の学校保健安全委員会においてのみ可能な状況ですので、まずはその機会を活用してすすめたいと存じます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 各市町健康増進・食育推進計画策定及び推進体制の整備 【対象】 地域の小中学校の児童や生徒その保護者や先生など 【方法】 担当学校薬剤師を通じて、児童・生徒に正しい知識を伝達し、そのためにどのような行動すべきかについて助言を与えます。 【手順】 各市町内の学校薬剤師が担当学校の保健安全委員会にて、教師や保護者にも指導・助言を実施します。	各学校薬剤師が年1回必要な講演を実施します。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	会員薬局に来局される患者さんはすでに医師の治療をうけているのでかなり意識は高いと思われますので、イベントに参加なされる地域の皆さんを対象に行うのが意識付けのきっかけになると考えられます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 生活習慣病に関する情報提供、健康診断等の受診勧奨 【対象】 寄居町健康まつりに来場なされる地域住民 【方法】 11月12日開催予定の健康まつりにおいて、ミニ健康講座として生活習慣病予防の講演実施。また血圧測定や体脂肪測定、血流測定そして食事や生活習慣の聞き取りを行い、健康診断の結果など聞いて受診勧奨を行います。 【手順】	健康まつりにおいてミニ健康講座の実施と健康チェックコーナーでの健康相談実施予定です。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	普段歯の痛みや歯茎の腫れ、入れ歯の不具合がないと歯科医を受診されない方が多いので、高齢になっても自分の歯で食事するためにも、健診を受けるように定期的に歯科医に診てもらうことを勧奨する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 歯科口腔保健の推進 【対象】 会員薬局に来局される方 【方法】 ハブラシヤや歯磨き粉・洗口液をお買上げの方に特に歯や歯茎のトラブルがなくても、歯科医に定期的に受診することをお話します。 また口渇、歯茎の腫れや顎骨に影響のある薬を服用されている方も多いので口腔ケアの必要性をパンフレットやポスターを利用して啓蒙する。	会員薬局の現場において随時行います。ひどくなると治療に時間がかかるので予防の重要性を告知します。

実施機関	熊谷市(国民健康保険)	
現状・課題等	健(検)診事業の円滑な実施に努め、効果的かつ効率的な各種保健サービスが利用できるように関係機関との連携を図ります。また受診率が低いため、受診率向上に向けた対策が課題となっています。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 特定健康診査等事業 【対象】 国民健康保険加入者で40歳以上の方 【方法】 個別健診、特定保健指導該当者に対して動機付け支援、積極的支援を実施。 【手順】 該当者全員に受診券を郵送し、受診勧奨を行う。	・特定健康診査受診率 60% ・特定保健指導実施率 60%

実施機関	熊谷市(国民健康保険)	
現状・課題等	糖尿病が重症化するリスクの高い者の人工透析への移行を防止し、国民健康保険被保険者の健康維持や医療費の適正化に資することを目的とする。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 生活習慣病重症化予防対策事業 【対象】 ①受診勧奨対象者(未受診者・受診中断者) ・空腹時血糖126mg/dl(随時血糖200mg/dl)以上 又はHbA1c(NGSP)6.5%以上 ・eGFRが基準値(60ml/分/1.73m ²)未満 受診中断者については、最終受診日から6か月経過しても受診した記録のない者 ②保健指導対象者 病期が第2期、第3期及び第4期と思われる者でかかりつけ医の同意があった者 【方法】 受診勧奨対象者へは勧奨通知を送付し、保健指導対象者へは生活習慣改善支援プログラムの参加案内を送付する。 【手順】	指導実施数 約80人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	平成28年度策定の熊谷市第3次健康増進計画に基づき、市民一人ひとりが行う健康づくりを地域社会で支援することにより「だれもが安心して健康に暮らせるまち くまがや」を目指す。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 健康増進計画の推進、策定 【対象】 市民 【方法】 基本項目を掲げ、目標達成のための施策の推進を図る。 【手順】 実効性のある目標値を設定した。目標値の状況を毎年把握し、評価検証を行い、市民健康寿命の延伸を図る。	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	糖尿病予防のために必要な知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 糖尿病予防教室 【対象】 40歳から64歳までの市民で、糖尿病予防に関心のある方 【方法】 糖尿病予防の講話、運動の実技指導、個別相談 【手順】 市報掲載、特定健診の結果でHbA1c値が基準値を超えている方への個別通知により周知する。	参加者数 150人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	生活習慣病予防のために必要な栄養・運動に関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 ヘルスアップ教室 【対象】 40歳から64歳までの普段運動習慣のない市民 (主治医による運動制限のない方) 【方法】 ①脂肪燃焼エクササイズ、②肩こり・腰痛予防、③ヨガの3コースを実施 【手順】 食生活の講話、運動の実技指導	参加者数 580人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	自らの健康を見直す機会の少ない20歳代から40歳代の女性に対し、健康づくりに関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 がんばる女性の健康セミナー 【対象】 20歳代から40歳代の女性市民(妊娠中の方は除く) 【方法】 乳がん・子宮がんの講話、運動の実技指導 【手順】 子育て支援センター等で周知を行う	参加者数 90人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	各医療機関と連携を図りながら、受診率の向上に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 個別がん検診等 【対象】 胃・大腸・肺がん検診:40歳以上、乳がん検診:40歳以上の女性(2年に1回)、子宮頸がん検診:20歳以上の女性(2年に1回) 前立腺がん検診:50歳以上の男性、骨粗鬆症検診:40・45・50・55・60・65・70歳の女性、肝炎ウイルス検診:40歳の方 【方法】 市内86医療機関にて個別検診を実施 【手順】 実施期間:6月～3月。周知は、市報・ホームページによる広報。 前年度受診者及び20・30歳の女性、40・45・50・55・60・65・70歳の方、受診券の申込をされた方及び前々年度乳がん・子宮頸がん受診者へ受診券を送付。	受診率 胃がん検診 28% 肺がん検診 31% 大腸がん検診 33% 子宮頸がん検診 38% 乳がん検診 38%

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	健康づくりに関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 集団健康教育 【対象】 市民 【方法】 自主グループ、公民館等の依頼により、保健師・栄養士・運動指導士等が集団指導を行う。 【手順】	参加者数 1000人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	市民からの相談に応じ必要な指導や助言等を行い、市民の健康づくりを推進します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 健康相談 【対象】 市民 【方法】 市民からの相談に対し保健師・栄養士が必要な指導・助言を行う。 【手順】 市報等で周知を行う。	相談者数 600人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	歯周病の早期発見・治療や歯の喪失予防のために知識の普及啓発と歯科検診受診率の向上に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 歯と口の健康診査 【対象】 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳の市民 【方法】 市内の92歯科医療機関において、個別歯科検診を実施。 【手順】 市報・市のホームページへの掲載、対象者に案内通知により周知する。市民からの申込により、受診券を送付する。	受診率 5%

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	高血圧予防に関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 高血圧予防教室 【対象】 40歳から64歳までの市民で糖尿病予防に関心のある方(治療の方は除外) 【方法】 糖尿病予防の講話、運動の実技指導 【手順】 市報、前年度特定健診の結果、血圧値が基準値を超えている方への個別通知により周知する。	参加者数 50人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	がん教育の推進とがん検診受診率の向上に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 生命(いのち)の授業推進事業 【対象】 中学生及び小中学校PTA等 【方法】 がんについての正しい知識や命の大切さを伝える「生命(いのち)の授業」をくまがやピンクリボンの会に委託し実施する。 【手順】	中学生対象 16校 PTA等対象 10回

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	体力向上・生活習慣病予防等に関する知識の普及啓発を図るとともに、市民の健康づくりを推進します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 毎日1万歩運動 くまぐまウォーキング 【対象】 30歳以上の市民(主治医による運動制限のない方) 【方法】 参加者に歩数計を配布し、毎日1万歩を目標にウォーキングに取り組む。運動・栄養についての教室も実施する。参加前後に血液検査、体重・血圧測定等を実施する。 【手順】	参加者数 280人 1万歩達成者の割合 50%

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	食育推進の担い手としてボランティアの養成に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】 食生活推進セミナー 【対象】 食育に関心のある市民 【方法】 7日間の講座を開催(食育に関する講話、調理実習、運動の実技指導)市報等により周知する。 【手順】	延べ参加者数 140人

実施機関	本庄市	
現状・課題等	特定健康診査やがん検診の受診率を向上させるための取り組みの検討を行う。また、市民自ら生活習慣病予防の知識を習得し健康づくりに取り組めるよう、教室等を通して周知・啓発に努める。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29 年 度	【事業名】 特定健康診査・特定保健指導 【対象】 40歳以上の国保加入者 【方法】 国のマニュアルによる 【手順】 対象者抽出・広報及び対象者へ通知・健診実施(集団・個別)・評価	健診受診率、保健指導率の向上
	【事業名】 生活習慣改善教室(ステップアップ教室) 【対象】 特定健診受診者のうち保健指導が必要な方 【方法】 調理実習・運動実技・健康相談等 【手順】 計画・対象者抽出・教室参加勧奨・実施・評価	参加者数の増加。対象者に適切な保健指導を行い、生活習慣の改善を図る。
	【事業名】 がん検診受診勧奨・がん予防のための情報提供 【対象】 対象年齢の市民等 【方法】 前年度のがん検診受診者と20～39歳までの隔年、節目の年齢、50歳代に、受診券及び検診案内を送付。市広報・ホームページで告知。リーフレット配布。乳がん触知モデル展示による自己健診法の紹介等。 【手順】	受診率の向上。および、がんの早期発見や予防についての周知・啓発を図る。
	【事業名】 健康づくりに関する各種教室 【対象】 おおむね40歳以上の市民 【方法】 講話・運動実技・血圧、体重測定・体力測定・調理実習等 【手順】 計画・告知・参加者募集・実施・評価	参加者数の増加。参加者が生活習慣を見直し、行動目標を設定し実践する。

実施機関	本庄市	
現状・課題等	・乳幼児期からの歯科口腔保健への取り組みの継続。 ・歯周病予防の推進を図るため個別歯周疾患検診(節目検診)を実施。受診者数を伸ばすための取り組みについて検討。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29 年 度	【事業名】 1歳6ヶ月児・2歳児・3歳児の各時期における個別歯科保健指導 【対象】 1歳6ヶ月児・2歳児・3歳児と保護者 【方法】 歯科検診(2歳児を除く)、ブラッシング指導、フッ素塗布(1歳6ヶ月健診・3歳児健診) 【手順】 広報・対象者への通知・実施・評価	う蝕のある児の総数および一人あたりのう蝕歯数の減少
	【事業名】 歯周疾患検診 【対象】 40・45・50・55・60・65・70歳の市民 【方法】 個別検診 【手順】 健診通知同封物や広報、HP等での周知及びポスターの掲示・実施・集計及び評価	検診受診者数の増加

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	生活習慣病を予防する対策の一環として、疾病の早期発見を図るため健康診断を実施しているが、受診率は伸び悩んでいる状況であるため、ポスターの掲示、チラシの配布などを実施している。 健診等の結果、必要なかたに対し健康管理についての保健指導や受診につなげ、重症化防止に努めている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29 年 度	【事業名】 各種健康診断の実施及び受診勧奨 【対象】 30歳以上の市民(前立腺がんは40歳以上、子宮頸がんは20歳以上) 【方法】 30歳代健康診査、健康増進法に基づく健康診査 【手順】 がん検診(胃・肺・大腸・前立腺・子宮頸・乳) 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 肝炎ウイルス検査 要精検者への受診勧奨 ニュースレター(保健センターだより)、リーフレットの送付	受診率の向上

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	成人期の歯の喪失原因である歯周病の早期発見を図り、適切な保健指導及び口腔衛生に関する正しい知識の普及をはかるため、歯周病検診を実施している。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 歯周病検診 【対象】 節目検診(40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳に達する方) 妊婦 【方法】 対象者に周知し、委託歯科医院で歯科検診、歯科相談及び保健指導を実施し、定期的に歯科検診を受けるきっかけづくりとする。 【手順】	受診率の向上

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	6月4日の「むし歯予防デー」にちなみ、こどもとその保護者、成人が口腔保健の必要性を理解し、8020運動の実践をすることを目的にイベントを開催している。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 むし歯・歯周病予防イベント 【対象】 深谷市民 【方法】 歯科衛生士養成学校に委託し、アリオ深谷センターコートで実施。むし歯・歯周病予防について劇、講話、歯科相談、ブラッシング指導、咀嚼ガムテスト、歯の模型づくり等を実施 【手順】	イベント参加人数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	生活習慣病の予備軍に対し、生活習慣病に移行させないために、対象者自身が健診結果を理解して体の変化に気づき、自らの生活習慣を振り返り自分の健康に関するセルフケア(自己管理)ができるようにすることを目的として実施しているが、参加者数が少ないことが課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 ハイリスク健康教育 【対象】 30歳代健康診査、健康増進法に基づく健康診査及び深谷市国民健康保険特定健康診査において「保健指導」と判定され、高血糖や肥満により該当になったかた 【方法】 個別相談3回、血液検査1回その他、ふかや毎日プラス1000歩運動(コバトン健康マイレージ)事業にも参加 【手順】	参加者数及び血液データ等の改善により評価

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	骨密度測定を行うことにより、骨量減少の早期発見と早期治療を促進し、骨粗しょう症を予防していくための生活習慣の改善を図ることを目的として実施しているが、より受診が必要な壮年期の女性の受診率向上が課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 骨粗しょう症検診・相談 【対象】 20歳以上の市民 【方法】 骨密度測定(DXA法)および結果説明、保健師・管理栄養士による相談 【手順】	壮年期女性の受診率の向上

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	第2次深谷市健康づくり計画(健康増進計画・食育推進計画・母子保健計画)を策定し、市民、行政、関係機関が協働して健康づくりや食育、母子の健康支援を推進していく必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 第2次深谷市健康づくり計画策定 【対象】 市民 【方法】 意識調査(市民、高校生・大学生・専門学校生、乳幼児保護者)、現計画の評価を行い、第2次計画を策定。 【手順】	第2次深谷市健康づくり計画策定

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	深谷市健康づくり計画に基づき、市民一人ひとりが健康で豊かな生活を送れるよう、ヘルスプロモーション理念のもと市全体で市民の健康づくりを支援し、健康なまちづくりを目指す。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 深谷市健康マイレージ事業「ためるんピックふかや」 【対象】 20歳以上の在住、在勤、在学者 【方法】 健康づくりポイントカードをツールとし、各種健(検)診受診、協賛店の利用、登録事業への参加、自主的な健康づくりをポイント化。既定のポイント数を貯めて景品と交換。 【手順】	事業参加者数、協力団体数、協賛店登録数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	健康づくりのために「運動を実践する」市民を増やすため、健康長寿埼玉モデルを活用した事業を実施する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 ふかや毎日プラス1000歩運動 【対象】 20歳以上の在住、在勤、在学者 参加定員:28年度、29年度合計930人 【方法】 ICTを活用し、6か月間の活動量(歩数)を計測。普段より少し多く歩く市民を増やし、健康づくりへの効果及び医療費への影響を検証する。平成29年度は県コバトン健康マイレージ事業を活用し事業内容を拡充して実施。 【手順】	参加者数、健康づくり及び医療費への影響

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	自ら健康づくりに取り組む市民を増やすため、疾病およびその予防に関する正しい知識の普及・啓発を図る必要があること、特に市では高血圧疾患が多いことから減少させるための継続した対策が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 各種健康教育・減塩教育事業 【対象】 市民 【方法】 医師会の協力によるミニセミナー、各種講演会、健康教育の実施、減塩教育等の開催 【手順】	各種健康教育開催数 参加者数

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 みさと健幸ポイント事業 【対象】 30歳以上の町民 【方法】 ①歩数計(40歳以上)又はスマートフォン(30歳以上)で参加。 ②歩数・特定健診・がん検診等、高齢者いきいき事業・イベント等に参加することでポイント付与される。 ③ポイントは「みさと元気チケット」と交換 【手順】 ①6月1日から参加者募集 ②ポイント付与期間:9月から12月 ③ポイント交換:平成30年2月から3月に実施。500ポイントを単位とし、500ポイントは500円の「みさと元気チケット」と交換。最大ポイントは5,000ポイント。抽選会を実施し、景品を贈呈。	健康維持及び体力向上、生活習慣病予防を促進することにより、健康寿命の延伸と国保医療費の抑制を図る。

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	各がん検診・特定健診の受診率は、年々向上している。 若い世代の受診率が低い。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】がん検診等の受診勧奨・再勧奨</p> <p>【対象】がん検診等対象者</p> <p>【方法】①各種がん検診・骨粗鬆症検診対象者すべての方に、受診券及び案内を個別通知する。 ②広報等による検診のPR ③40歳から69歳(子宮頸がんは20歳)の国保の方でがん検診未受診者に再勧奨通知を個別に送付する。</p> <p>【手順】①4月下旬に個別通知送付 ②広報お知らせ版5月15日号掲載 ③1月中旬に個別通知送付</p>	受診率の向上
	<p>【事業名】精密検査未受診者に対する受診再勧奨</p> <p>【対象】各がん検診精密検査未受診者</p> <p>【方法】再勧奨通知を個別に送付する。</p> <p>【手順】2月上旬に個別通知送付</p>	精検受診率の向上
	<p>【事業名】がん予防についての情報提供</p> <p>【対象】町民</p> <p>【方法】①がん検診時に受診者にごがん予防についてのリーフレットを配布及びビデオの上映 ②乳がん検診時に、乳がん触診モデルを展示し、実際に触れてもらう ③健康まつり時に、がんに関するリーフレット等を配布。乳がん触診モデルを展示し、実際に触れてもらう。</p> <p>【手順】</p>	がんについての情報提供を行い、各がん検診の受診率の向上をねらう。
	<p>【事業名】特定健診とがん検診の同時実施</p> <p>【対象】各検診対象者</p> <p>【方法】特定健診時に、肺がん・大腸がん検診・成人歯科健診を同時実施 骨粗鬆症検診時に、大腸がん検診を同時実施</p> <p>【手順】</p>	受診率の向上
	<p>【事業名】特定健診</p> <p>【対象】40～74歳国民健康保険加入者</p> <p>【方法】集団検診</p> <p>【手順】①対象者には個別通知及びパンフレットを送付 ②電話での受診勧奨</p>	受診率55%
	<p>【事業名】特定保健指導</p> <p>【対象】特定健診受診者で、動機づけ支援・積極的支援が必要とされた者</p> <p>【方法】集団指導・個別指導</p> <p>【手順】指導対象者に保健指導を実施。</p>	特定保健指導率55% 自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる。
	<p>【事業名】食生活改善事業</p> <p>【対象】食生活改善推進員連絡協議会会員</p> <p>【方法】①調理実習時に、管理栄養士による生活習慣病・食育等の講話 ②調理実習時に、体重測定・血圧測定の実施 ③塩分計を貸し出し、自分自身の家庭の塩分濃度を測定してもらう。</p> <p>【手順】①②調理実習 3グループ×8回=24回実施</p>	生活習慣病や食育等についての知識を高め、健康づくりの知識普及啓発

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	町では、脳血管疾患・糖尿病の方が増加傾向にある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 スッキリ！げんき教室</p> <p>【対象】 特定保健指導対象者</p> <p>【方法】 体力測定(実施前後)・健康運動指導士による運動教室</p> <p>【手順】 10月～3月の間に12回実施</p>	継続した運動習慣を身につける。
	<p>【事業名】 もっと！スッキリ教室</p> <p>【対象】 特定保健指導を終了し、継続して運動を続けたい方</p> <p>【方法】 健康運動指導士による運動教室</p> <p>【手順】 4月～8月の間に5回実施</p>	継続した運動習慣を身につける。
	<p>【事業名】 めざせ！毎日1万歩運動(健康長寿埼玉モデル)</p> <p>【対象】 運動制限のない30歳以上の町民の方</p> <p>【方法】 6月～1月実施 歩数計を配布し、毎日一万歩をめざしてもらう。 身体測定2回・体力測定2回・血液検査2回・運動教室7回・栄養指導(講義)1回実施 タニタに委託し、血圧・体組成・歩数をデータ管理</p> <p>【手順】 広報等でお知らせ 実施後、タニタのデータ・血液検査・体力測定結果・アンケート等で評価をする。</p>	自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる。
	<p>【事業名】 みさと健康ときめき楽習会(健康長寿埼玉モデル)</p> <p>【対象】 特定健診受診者</p> <p>【方法】 9月～3月実施 歩数計を配布し、毎日一万歩をめざしてもらう。 身体測定2回・体力測定2回・医師講義1回・運動教室12回・栄養講座1回・調理実習3回・血液検査1回実施 タニタに委託し、血圧・体組成・歩数をデータ管理</p> <p>【手順】 特定健診の結果通知にチラシを同封する。 参加者を40名募集する。 実施後、タニタのデータ・血液検査・体力測定結果・アンケート等で評価をする。</p>	自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる。
	<p>【事業名】 めざせ！毎日一万歩運動「健幸ときめき隊」(健康長寿埼玉モデル)</p> <p>【対象】 平成27年度・平成28年度(めざせ！毎日1万歩運動・健康ときめき楽習会)講座修了者</p> <p>【方法】 運動教室9回・栄養指導(講義)1回・身体測定1回・体力測定1回・血液検査1回 タニタに委託し、血圧・体組成・歩数をデータ管理</p> <p>【手順】 実施後、タニタのデータ・血液検査・体力測定結果・アンケート等で評価をする。</p>	自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる。
	<p>【事業名】 生活習慣病予防訪問指導事業</p> <p>【対象】 血圧・HbA1c・eGFRの値が要医療の方</p> <p>【方法】 訪問指導</p> <p>【手順】</p>	健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、家庭での健康管理に役立たせる。
	<p>【事業名】 健康相談</p> <p>【対象】 特定健診受診者</p> <p>【方法】 保健師・管理栄養士による健康相談</p> <p>【手順】 特定健診結果にチラシを同封</p>	健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、家庭での健康管理に役立たせる。
	<p>【事業名】 生活習慣病予防のための情報提供</p> <p>【対象】 全町民</p> <p>【方法】 広報誌に生活習慣病予防のための情報を毎月掲載</p> <p>【手順】</p>	生活習慣病についての知識を高め、健康づくりの知識普及啓発

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	5歳児歯科健診の受診率が低い。 また、年齢が高くなるにつれて、1人当たりの虫歯の保有率が高くなって	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】 幼児歯科健診</p> <p>【対象】 2歳児、2歳6ヶ月児、5歳児とその保護者</p> <p>【方法】 ①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導、歯科相談等 ③フッ素塗布</p> <p>【手順】 2歳児・2歳6ヶ月児(同日実施):年4回、5歳児:年3回実施</p>	幼児のう蝕の減少
	<p>【事業名】 1歳6ヶ月児健診・3歳児健診</p> <p>【対象】 1歳6ヶ月児・3歳児とその保護者</p> <p>【方法】 <<1歳6ヶ月児>> ①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導、歯科相談等 ③フッ素塗布 <<3歳児健診>> ①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導、歯科相談等 ③フッ素塗布</p> <p>【手順】 各健診4回実施</p>	受診率の向上
	<p>【事業名】 歯周疾患検診</p> <p>【対象】 集団健診:40歳以上の町民 個別健診:40・45・50・55・60・65・70・75・80歳</p> <p>【方法】 歯周病疾患等の検査、歯科衛生士による歯科相談・指導</p> <p>【手順】 集団健診:特定健診時に実施(10日間) 個別健診:8月～3月実施</p>	成人及び高齢者の歯周疾患予防
	<p>【事業名】 「8020運動よい歯のコンクール」表彰</p> <p>【対象】 町の成人歯科健診を受けた方で、80歳以上で自分の歯が20本以上ある方</p> <p>【方法】 健康まつりで表彰式を実施</p> <p>【手順】</p>	歯の健康に対する意識の向上を図り、あわせて健康の保持増進を図る。

実施機関	神川町	
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進の重要性について住民全体の共有化を図るとともに、ライフステージごとの効果的な生活習慣病予防対策事業を実施していく。 ・町民の生活習慣の改善に繋がる魅力ある事業展開 ・食生活改善推進協議会の活動充実 	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】健康相談</p> <p>【対象】全町民</p> <p>【方法】保健師による健康相談を実施(毎週水曜日午前中)</p> <p>【手順】広報、町HP等で周知</p> <p>【事業名】埼玉モデル 毎日1万歩運動(平成27年度より実施)</p> <p>【対象】20～74歳の住民(平成29年度は200名目標)</p> <p>【方法】・タニタに委託する活動量計(万歩計)をつけて、毎日1万歩を目標に歩く。</p> <p>・活動量計(万歩計)をつけて、毎日2万歩を目標にウォーキング。</p> <p>・月1回タニタへデータ送信する。</p> <p>・体力測定。血液検査などで評価実施</p> <p>【手順】①体力測定・血液検査・説明会 ②各自ウォーキング ③ウォーキング教室・男性のための筋力アップ塾等を実施 ④体力測定・血液検査等で成果の確認</p> <p>【事業名】ウォーキング教室の開催</p> <p>【対象】40歳～74歳までの約20名</p> <p>【方法】一般コース:6月から3月まで8回開催。健康運動指導士による教室を開催</p> <p>継続コース:年回3回開催。健康運動指導士による教室を開催</p> <p>【手順】募集ー実施ー検証</p> <p>【事業名】健康チャレンジ教室(国保事業)</p> <p>【対象】65歳までの町民、運動制限のない方</p> <p>【方法】保健師、栄養士、スポーツケアトレーナーにより年24回実施</p> <p>【手順】講話と運動。見込延べ人数300人</p> <p>【事業名】地域健康づくり出前講座</p> <p>【対象】全町民</p> <p>【方法】保健師等が地域に出向き健康づくり講座を実施</p> <p>【手順】募集・日程調整・実施</p> <p>【事業名】食生活改善推進協議会活動の充実</p> <p>【対象】全町民</p> <p>【方法】食生活を通じた健康づくり事業の展開</p> <p>【手順】食育の推進、生活習慣病の予防及び食生活改善の推進</p> <p>【事業名】親子料理教室</p> <p>【対象】小学校3年生から6年生の児童と保護者</p> <p>【方法】食生活改善推進員が中心となり調理実習と講話を実施。</p> <p>【手順】募集・調理実習・保護者の講話</p> <p>【事業名】子ども農園</p> <p>【対象】3歳～小学生の親子</p> <p>【方法】栽培から収穫、調理までの一連の流れを経験してもらうことで、子どもたちの「食べる力」を育む。</p> <p>【手順】募集・種まき・収穫・調理を体験する。</p>	<p>町民一人ひとりが正しい生活習慣を身に付け、QOLの向上を図り、生き甲斐を感じながら生涯いきいきと暮らせることを目指します。(健康増進計画の目標より)</p> <p>地域ぐるみでの健康づくり講座の実施</p> <p>地域に根ざした食生活改善推進活動の実施</p> <p>子どもが料理することを楽しみ、一人で料理ができることを目指す。</p> <p>親子や家族とのかかわり、仲間や地域とのかかわりを深め、子どもの健やかな心身の発達を促す。</p>

実施機関	神川町	
現状・課題等	・県の示す標準化死亡率(SMR)において、脳梗塞の数値が県内でも高く、糖尿病は減少傾向にあるものの、当町では今だ150を越える高い値を示している。 ・特定健診・特定保健指導の受診率の向上	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 特定健診</p> <p>【対象】 国保加入者(40～74歳)</p> <p>【方法】 集団健診、個別健診、人間ドック等</p> <p>【手順】 受診勧奨・実施・評価</p> <p>【事業名】 特定保健指導</p> <p>【対象】 40歳～74歳の国保加入者等及び受診者の中で指導の必要な方</p> <p>【方法】 保健師や管理栄養士により訪問による初回面接を行い、6ヶ月間継続できる生活習慣病予防の目標を立て、その成果に基づき評価を行う。</p> <p>【手順】 計画・対象者抽出・実施・評価</p> <p>【事業名】 健診結果説明</p> <p>【対象】 特定健診受診者(後期高齢者も含む)</p> <p>【方法】 保健師・管理栄養士による個別相談を4日間実施</p> <p>【手順】 計画・実施・評価</p> <p>【事業名】 重症化予防のための個別訪問</p> <p>【対象】 特定健診の受診者のうち、血圧・血糖・腎機能の数値が心配な方</p> <p>【方法】 保健師と管理栄養士による個別訪問・指導を実施</p> <p>【手順】 計画・実施・評価</p> <p>【事業名】 生活習慣病重症化予防対策事業(埼玉県・国保連合会との共同事業)</p> <p>【対象】 ①特定健診受診者のうち、血糖・腎機能の数値が基準以上の方 ②糖尿病性腎症の病期がⅡ～Ⅳ期の方で医師が認めたもの</p> <p>【方法】 ①医療未受診者・中断者への通知・電話による受診勧奨 ②糖尿病性腎症で通院する患者への保健指導</p> <p>【手順】 計画・委託・実施・評価</p>	特定健診受診率 60% 対象者に対し、適切な保健指導を行い、生活習慣の改善を図る。 特定保健指導実施率

実施機関	神川町	
現状・課題等	がん検診の若年層の受診率向上	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】 がん検診受診勧奨啓発</p> <p>【対象】 全町民</p> <p>【方法】 町内各種団体の会議、事業時に啓発チラシ配布</p> <p>【手順】 広報や回覧等で周知。のぼり旗の設置。各種団体の会議等でチラシの配布。成人式で子宮頸がん検診のチラシ配布。町内幼稚園及び保育所にチラシを配布し受診勧奨。</p> <p>【事業名】 がん検診等検診費用の無料化</p> <p>【対象】 全町民</p> <p>【方法】 町実施のがん検診等すべての検診の自己負担金を無料とする。</p> <p>【手順】 広報・個人通知等にて周知するとともに、がん検診等の受診勧奨を行う。</p> <p>【事業名】 がん検診推進事業の実施</p> <p>【対象】 ・子宮頸がん検診:21歳 ・乳がん検診:41歳</p> <p>【方法】 受診無料クーポン券配布し受診勧奨</p> <p>【手順】 対象者抽出・クーポン券発送・受診・支払い・国へ申請</p> <p>【事業名】 がん検診等ポイントカード配布事業</p> <p>【対象】 全町民</p> <p>【方法】 がん検診やその他の検診及び教室等に参加することでポイントをため、男性30ポイント、女性40ポイント貯まった方に粗品を進呈する。</p> <p>【手順】 ポイントカード配布・押印・確認・粗品進呈(500円相当)</p>	がん検診受診率向上 がん検診受診率向上 がん健診の受診率向上及び未受診者の受診率向上 受診率向上

実施機関	神川町	
現状・課題等	・ライフステージに沿った歯科保健サービス体制の構築。 ・歯科保健事業の充実及び歯科検診受診率の向上を目指す。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】マタニティデンタルチェック&助産師さんに聞いてみよう(年2回実施)</p> <p>【対象】妊婦と配偶者</p> <p>【方法】歯科医師による歯科検診と講話及び唾液検査。助産師による何でも相談。</p> <p>【手順】同上</p> <p>【事業名】園児歯磨き教室(年5回実施)と小学1年生への歯ブラシ配布</p> <p>【対象】町内幼稚園と保育所の園児と保護者。小学1年生</p> <p>【方法】町内歯科医が各施設に出向き講話及びブラッシング指導等を行う。</p> <p>【手順】母子愛育会と連携し実施</p> <p>【事業名】乳幼児健診における歯科相談・歯磨き指導</p> <p>【対象】6ヶ月、1歳、1歳6ヶ月、2歳、3歳児及び保護者</p> <p>【方法】歯科衛生士によるブラッシング指導等</p> <p>【手順】健診に来た人全員に実施</p> <p>【事業名】成人歯科個別検診</p> <p>【対象】30歳から80歳までの5歳きざみの方</p> <p>【方法】町の指定歯科医院で、歯や歯肉の状態、歯石などの口腔内の診察</p> <p>【手順】歯科医院へ予約し受診</p> <p>【事業名】妊婦歯科個別検診</p> <p>【対象】妊婦</p> <p>【方法】町の指定歯科医院で、歯や歯肉の状態、歯石などの口腔内の診察</p> <p>【手順】歯科医院へ予約し受診</p> <p>【事業名】8020運動</p> <p>【対象】80歳以上で自分の歯が20本以上ある方</p> <p>【方法】コスモまつり時に表彰</p> <p>【手順】歯科検診により抽出又は町内歯科医師からの推薦、本人に連絡</p> <p>【事業名】地域支援事業(年19回実施予定)『週いち元気アップ体操10教室各2回』</p> <p>【対象】一般介護予防事業対象者</p> <p>【方法】衛生士による口腔指導・相談、口腔体操</p> <p>【手順】集団指導</p>	<p>・妊娠中の口腔内を健康やかに保つとともに、生まれてくる子や家族の歯の健康づくりについても意識を高める。</p> <p>・参加率を目標30%</p> <p>子どもの歯の健康づくりに関心の高い保護者が増え、仕上げみがきが定着し、むし歯のない子が増える。</p> <p>むし歯のない子の割合目標:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児健診 ・2歳児歯科検診 ・3歳児健診 <p>自分や家族の口腔の状態に関心を持ち、口腔ケアを実践する人が増える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診車を増やす ・毎食後の歯みがき習慣の増加 ・よく噛んで食事をする人が増える。 <p>歯の喪失を防ぎ、よく噛める歯と口腔衛生を保ち、笑顔でいきいき過ごすことができる。</p> <p>歯の喪失を防ぎ、歯と口腔衛生を保ち、笑顔でいきいきと過ごすことが出来る。</p>

実施機関	神川町	
現状・課題等	保健統計及び健診結果、医療費等の分析を行い、神川町の現状と課題に即した疾病予防対策を実施。また、研修を重ねて保健師等の資質向上を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】健康課題分析事業の実施及び保健指導等に関する研修会への参加</p> <p>【対象】保健師、看護師、管理栄養士等</p> <p>【方法】健診データ・レセプト分析等により健康対策、疾病予防対策立案</p> <p>【手順】隔月ごとに町広報に認知症予防のための正しい知識、啓発の記事及び簡単な料理のレシピを掲載</p>	町の健康課題の分析

実施機関	上里町	
現状・課題等	がん検診受診率の向上が必要	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】1-①がん検診受診勧奨</p> <p>【対象】全町民</p> <p>【方法】1)40歳男女に健康手帳の配布とがん検診等の受診啓発を目的に個別通知 2)30歳女性に子宮頸がん個別検診受診券付受診勧奨の個別通知 3)各世帯毎に申込書配布 4)町内保育園・幼稚園を通じて子育て世代の女性に対して子宮頸がん検診受診勧奨チラシの配布 5)60～64歳のがん検診未申込者へ個別の受診勧奨・再勧奨 【参考】5がん検診外で胃がんリスク検診対象者全員へ受診券付受診勧奨文送付。 歯周疾患検診受診勧奨も兼ねる。</p> <p>【手順】次年度のがん検診申込みが開始されるタイミングで対象年齢の方に受診勧奨</p>	全がん検診受診率の向上 目標:50%
	<p>【事業名】1-②がん検診受診勧奨「上里町いきいきスタンプラリー」</p> <p>【対象】各種検診受診者・教室参加者</p> <p>【方法】スタンプラリー対象事業に参加することにスタンプを押印し、賞品交換条件を満たした方に賞品を贈呈。対象事業には生涯学習課、高齢者いきいき課主催のものも含む。 健診受診や教室参加だけでなく、自ら立てた健康目標を達成できた場合にも、スタンプ押印ができるよう「私の健康づくり」取組カードを新たに作成。</p> <p>【手順】検診や教室等で台紙の配布や押印、景品引きかえは保健センターで行う。</p>	
	<p>【事業名】2. がん検診啓発事業</p> <p>【対象】全町民</p> <p>【方法】①庁用車でPR(マグネット)②がん予防教室</p> <p>【手順】②については男女共同参画推進センターと共同実施。</p>	
	<p>【事業名】3. がん検診推進事業</p> <p>【対象】国の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」の活用により、①個別の受診勧奨・再勧奨②無料クーポン券の交付を行う。①については、1-①5)の方法により実施。②については子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券対象者へクーポン券を送付。また、町単独事業として大腸がん検診については40歳の方のみ検診費用が無料となる。</p> <p>【方法】①がん検診推進事業の事業説明のPR(上里町ホームページ等) ②検診の無料クーポン券の配布(子宮頸がん・乳がん検診) ③40歳男女に「上里町大腸がん検診推進事業」の周知及び受診勧奨の個別通知。</p> <p>【手順】がん検診の実施にあわせ、クーポン券等の配布を実施。</p>	

実施機関	上里町	
現状・課題等	生活習慣病予防のための教室として、健康長寿埼玉モデル「毎日1万歩運動」を継続。2年目となる今年度は、新たに50名を募集する。1年目の成果を周知し、事業に参加できない住民にも健康づくりの大切さをPRする。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】健康サイクルかみさとプロジェクト「からだ改革塾～ウォーキング編～」</p> <p>【対象】20～74歳の町民の方で運動制限のない方</p> <p>【方法】毎日のウォーキング、身体・体力測定、血液検査、筋トレや食事の教室等</p> <p>【手順】</p>	生活習慣病予防のための規則正しい生活習慣の知識普及と定着化

実施機関	上里町	
現状・課題等	目標としている受診率には達成していない状況のため受診勧奨実施	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 特定健康診査受診勧奨 【対象】 40～74歳までの国民健康保険加入者のうち健診未受診者 【方法】 ①広報掲載②はがきによる受診勧奨個別通知③電話で受診勧奨 【手順】	医療保険者が行う特定健康診査・特定保健指導に準ずる。

実施機関	上里町	
現状・課題等	特定健康診査等の結果、糖尿病の検査項目であるHbA1cの値がやや高い方が多いため、糖尿病に対する正しい知識の普及と重症化予防の教室を実施	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 糖尿病予防教室 【対象】 HbA1c6.2%以上又は空腹時血糖110mg/dl以上の方とその家族 【方法】 広報で周知し、さらに特定健診受診者のうち対象者には個別通知 【手順】 運動実践、糖尿病に関する健康講話、食事診断	糖尿病予防のための正しい知識の普及と生活習慣改善

実施機関	上里町	
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の喪失原因である歯周疾患を早期に発見し、予防する。 ・受診者数が少ない。 	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 歯周疾患検診 【対象】 40・45・50・55・60・65・70・75・80歳の男女 <検診受診方法> 対象者は委託歯科医療機関に事前予約し、受診する。(受診費用;無料) <周知方法> 1)受診勧奨(①4月下旬対象者全員へ他の受診勧奨と同時発送②10月下旬40・50・60・70歳(法定節目年齢)未受診者へハガキ送付)③40歳へ健康手帳発送時 2)広報やホームページに掲載 3)骨粗しょう症検診時、対象者へ勧奨チラシを配布 4)保健センター等の町施設や実施歯科医療機関にポスター掲示	受診率:8.0%

実施機関	上里町	
現状・課題等	骨粗鬆症を早期に発見し、転倒による骨折やロコモティブシンドロームを予防するために実施。早期発見することで、食生活や運動など生活習慣を見直す契機の間とする。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 骨粗鬆症検診 【対象】 受診希望者 【方法】 ①無料対象者(40・45・50・55・60・65・70歳女性)に個別通知 ②広報掲載 【手順】 肺がん検診(5日間)と全日程同時実施。	受診率:節目年齢30%以上

実施機関	上里町	
現状・課題等	健康増進・食育推進計画の基本理念のもと、生活習慣病の予防や健康づくり推進のために全町的に取り組んでいく。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 健康増進・食育推進計画「上里町健康づくり推進総合計画」 【対象】 全町民 【方法】 計画の目標を達成するため、全町的に健康づくりに取り組む。 【手順】 各課で計画を念頭に事業に取り組んでもらう。	28年度から取組み、32年度に中間評価。目標や評価指標は、計画に準ずる。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	健康増進計画及び、食育推進計画が未策定	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】健康増進計画及び、食育推進計画が未策定 【対象】全住民 【方法】計画の策定に向けた準備を行う 【手順】	計画の策定に向け、 庁内の調整を行う

実施機関	寄居町	
現状・課題等	健康長寿県下No.1を目指した健康づくり事業の継続	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】生活習慣病予防事業 【対象】20歳以上の住民 【方法】生活習慣病予防について普及啓発に努める 【手順】	啓発事業の実施

実施機関	熊谷市、熊谷保健所等	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】熊谷保健所管内歯科保健推進会議、地域保健医療協議会、 北部保健医療圏地域保健医療協議会、介護認定審査会等 【対象】 } 会議 【方法】 } 【手順】 }	行政機関、関係団体との 会議に出席し、意見 交換を行い、情報の共 有化を図る。

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	生活習慣病の予防や生活習慣の改善を促進し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小が埼玉県健康長寿計画の目的であり、地域における生活習慣病の発症と重症化予防が課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】各市町健康増進・食育推進計画策定及び推進体制の整備 【対象】各市町、健康づくり関係団体、民間企業を含む食育関係団体等 【方法】会議・研修会の開催 【手順】食育・健康づくり関係団体の支援、研修会の開催	生活習慣病の発症と 重症化予防の取り組 み

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	地域住民の健康課題を明確にし、課題となった生活習慣病の発症と重症化予防のための事業の展開が求められている。市町と協力しデータヘルス計画策定後の健康課題を改善するための効果的な保健事業につなげることが課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】医療保険者のデータヘルス計画策定支援事業 【対象】各市町、健康保険組合、健診実施機関 【方法】会議や研修会の開催、市町や健康保険組合等の支援 【手順】市町健康課題対策会議の開催	データヘルス計画の 策定による効果的な 事業の実施

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	地域包括ケア体制の整備に伴い、在宅における歯科口腔保健体制の整備が求められている。在宅療養者の口腔ケアの実施が課題である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 歯科口腔保健計画推進事業 【対象】 各市町、歯科医師会、歯科衛生士会、地域包括支援センター等 【方法】 会議の開催 【手順】 保健所歯科口腔保健連携会議の開催	在宅介護・医療の担い手向けの口腔ケア研修会の実施

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	データヘルス計画が管内市町すべてで策定できた。同計画を効果的に活用し特定健康診査・特定保健指導等保健事業を実施し生活習慣病の重症化予防や住民の健康寿命の延伸を図る。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 地域職域連携推進事業(保健指導実務者研修会等の開催) 【対象】 市町特定健診他保健事業担当者、事業所等健康管理部門担当 【方法】 研修会及びロールプレイング他 【手順】 健康課題分析や効果的な行動変容を促す手法を学ぶ。	市町の保健部門、国保部門との健康課題の共有、効果的な保健事業の実施、事業の評価方法について学ぶ。

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	働き盛りの世代に対し生活習慣病予防や重症化予防のアプローチする機会が得られにくい。若年期からの生活習慣病予防について情報提供する。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 食育推進事業 【対象】 看護学生や保育園の栄養士、保育士 【方法】 講義形式の研修会や調理実習、グループワーク 【手順】 生活習慣に関するアンケートの実施、食育事例等の紹介、情報交換会の開催。	食や健康に関する正しい知識を習得する。

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	高齢化社会において健康な生活を送るため口腔ケアの重要性の周知及び支援が必要である。地域在宅歯科医療推進拠点の効果的な活用を目指す。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 歯科口腔保健連携会議 【対象】 管内市町、歯科医師会、歯科衛生士会 【方法】 歯・口腔の健康管理をテーマにしたグループワーク 【手順】 関係機関による情報交換、課題検討を行う。	8020運動の推進とともに口腔ケアが必要な住民に口腔ケアが提供できるようしくみづくりの構築に努める。

事業名

健康危機管理体制の整備充実

目標

大規模な災害発生時に、管内で適切に医療が提供されるよう、行政、医療機関などの関係機関の連携強化を図ります。さらに、災害時における各機関・団体の役割を明確にし、円滑な支援活動が行われるよう環境を整備します。新型インフルエンザや新興感染症が発生した場合に備え、地域医療体制の整備、関係機関の連携、研修・訓練の実施に努めます。また、大規模集団感染などの事例が発生した場合には、保健所、市町、医療機関等が協力して住民の生命・健康の保護に努めます。

主な取組

- 大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組
 - 中長期的な健康管理活動の確保
 - 新型インフルエンザ・新興感染症対策の強化
- 実施主体：保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、消防本部

平成29年度 北部保健医療圏圏域別取組実施計画

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 災害時における医療救護活動 【対象】 一般市民 【方法】 医師会の災害時行動マニュアルにより、緊急時に適切な行動がとれるよう整備を進める。 【手順】	

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	防災連絡網は出来ているが、連絡手段が固定電話番号のみとなっている。災害時に有効なものとするために、複数の連絡手段の作成が必要と思われる。アンケート調査を実施し、連絡方法の徹底を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 熊谷市歯科医師会災害対策本部 【対象】 熊谷市歯科医師会会員(全会員) 【方法】 災害対策本部の設置 【手順】	災害に備え全会員を組織化する

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	平成28年3月29日(火)に災害時における医療救護活動に関する協定を締結した。より綿密な協力体制を整える必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 熊谷市総合防災訓練 【対象】 【方法】 会議への参加及び訓練への会員の派遣 【手順】	会員を派遣し、得られた情報を会にフィードバックして、災害時の協力体制を整える。

実施機関	埼玉県、(一社)埼玉県歯科医師会、(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	身元確認における口腔内チャートの採得等、会員全体のスキルアップが課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 防災連絡協議会、身元確認班研修会 【対象】 【方法】 協議会、研修会への会員の派遣 【手順】	会員を派遣し、得られた情報を会にフィードバックして、会員のスキルの向上を図る。

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	大規模な災害発生時に地域住民にへの適切な歯科医療を提供するシステムづくり。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】大規模災害対策推進 【対象】大里郡市歯科医師会 【方法】大規模災害時の歯科医療提供システムと身元確認の為の整備と研修 【手順】	会員の啓発

実施機関	(一社)熊谷薬剤師会	
現状・課題等	大規模災害時における医薬品の供給や医療提供体制の確保に向けた取組	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】健康危機管理体制の確立と検討 【対象】薬剤師 【方法】定例会・委員会での検討、研修会への参加 【手順】1. 大規模災害時、新型インフルエンザ等発生時の対応について、定例会・委員会等で検討し、会員間及び関連組織との間で情報共有する。 2. 災害時等の危機管理に関する訓練等の研修会に参加する。	準備態勢を平常時から検討し、情報共有する。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	サイボウズによる、会員間での、情報共有。携帯電話での緊急時連絡。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】大規模災害時における医療体制の確保 【対象】地域住民・会員 【方法】会員間で、日常から連携を取れるよう訓練することも必要。 【手順】	災害時、薬剤師の役割について意識を高める。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	災害が長引いた場合、医薬品の供給や被災者の健康維持管理について考える。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】中長期的な健康管理活動 【対象】地域住民・会員 【方法】県の薬剤師会等で行う研修会に参加し、理解を深めいざという時に実践できるようにする。 【手順】	中長期化した時に、薬剤師ができる範囲で、健康管理を行う。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	新型インフルエンザ・新興感染症について学ぶ	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	【事業名】新型インフルエンザ・新興感染症対策 【対象】会員 【方法】講習会等で、感染症について知識を深め、かつ連携し、事例が発生した場合には拡大化を防ぐ。 【手順】	正確な情報を入手し、迅速な対応を心がける。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	健康危機管理体制そのものが当薬剤師会では構築できておりません。まずは行政の関連部署と協議させていただき、どのような順番にしてその都度何ができるかというマニュアル作成を手がけたい。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年 度	<p>【事業名】大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組</p> <p>【対象】寄居薬剤師会薬局、寄居薬剤師会々員</p> <p>【方法】薬剤師会に期待されるものとして、被災された方の服薬されていた治療薬の提供や救急薬品・消毒薬の提供という物的面に重きがおかれてい ると思われしますので、寄居薬剤師会薬局にその備蓄と管理につい て可能かどうか検討し、できることは実践します。</p> <p>【手順】</p>	<p>まずは災害発生当日、1日目、3日目、7日目 というような計時的に 何をすべきかというマ ニュアルを作成しま す。</p>

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	中長期的な健康管理活動として具体的にどのような活動があるのか研究し、できることを実践 します。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年 度	<p>【事業名】中長期的な健康管理活動の確保</p> <p>【対象】会員薬局</p> <p>【方法】薬物治療を行っている患者様が疾病状態から脱却するまでに実施する こと、その脱却後元にもどらないような助言や指導を各疾病別に検討 し、患者様にお話する。疾病予防や健康増進の提案をします。</p> <p>【手順】</p>	<p>疾病と薬剤の研修だ けではなく、疾病から 治って元に戻らないよ うな助言や指導の研 修会を実施します。</p>

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	新型インフルエンザが流行した時は抗インフルエンザ薬やマスクの入手が困難となり大変なこ とが起こり得るということを想定しながら対応策を練り、準備をする。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
29年 度	<p>【事業名】新型インフルエンザ・新興感染症対策の強化</p> <p>【対象】会員薬局</p> <p>【方法】日頃から抗インフルエンザ薬や抗生剤、消毒薬、マスク等の備蓄をし、 その管理を行う。インターネット等活用し必要でタイムリーな情報を共有 する。</p> <p>【手順】新型インフルエンザが流行した時のことを思い浮かべて各会員薬局が 行動することを周知します。</p>	<p>定期的開催している 研修会に危機管理の 時間をつくり必要な情 報を伝えます。</p>

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	大規模災害等に備えるため、熊谷市地域防災計画に基づき関係機関との連携強化を図ります。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 災害医療対策マニュアルの策定 【対象】 医師会、歯科医師会、薬剤師会 【方法】 平成26年度にマニュアルが完成し、平成27年度に三師会と災害時の医療活動に関する協定を締結したので、引き続き、災害時の医療救護活動体制の連携強化について協議する。 【手順】	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	災害時における各機関の役割を明確にし、円滑な支援活動が行われるよう努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 総合防災訓練の実施 【対象】 医師、看護師等 【方法】 熊谷市総合防災訓練において、救護所運営訓練を行う。 【手順】	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	新型インフルエンザ等の発生に備えるため、予防接種体制の構築を図ります。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 予防接種体制の整備 【対象】 熊谷市、医師会、医療機関 【方法】 予防接種体制を整備する。 【手順】	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	災害時に必要不可欠な、応急手当の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 救命講習会の開催 【対象】 一般市民及び各種事業所 【方法】 電話による受付 【手順】 <ul style="list-style-type: none"> ・市報の公募による受付・開催 ・希望する場所での出張開催 	年間52回 受講者数1,300人

実施機関	本庄市	
現状・課題等	本庄市地域防災計画により実施。医師会・歯科医師会・薬剤師会と災害時の医療救護活動に関する協定を締結しているが、その見直しも行われている。災害時要援護者避難支援プランを策定。新型インフルエンザ等対策行動計画を策定。また、有事の時に機能するよう行動マニュアルの作成が必要。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 災害時の医療救護活動に関する協定 【対象】 医師会・歯科医師会・薬剤師会 【方法】 災害時における各関係機関との連携を確保 【手順】 協定書に則り実施	災害時を想定し、負傷者や疾病患者に対する的確、適切な初動体制の確保
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	
29年度	【事業名】 災害時要援護者避難支援体制の整備 【対象】 災害時に地域での支援を希望する要援護者抜粋 【方法】 災害時要援護者避難支援プランの推進。災害時を想定した連携の確認 【手順】 支援希望者リストおよび個別支援計画の作成・情報更新	

実施機関	本庄市	
現状・課題等	地域住民参加による総合的な防災訓練を実施。 (総合防災訓練年1回・土砂災害防災訓練年1回)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 本庄市総合防災訓練 【対象】 北泉小学校区域内の住民・児童・市職員等 【方法】 天災を想定しての避難、救出、救護、消火等の訓練 【手順】 小学校校庭を会場に実施	災害時を想定し、負傷者や疾病患者に対する適切な避難誘導および情報伝達体制の確保
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	
29年度	【事業名】 土砂災害・全国統一防災訓練 【対象】 元田地区住民・市職員等 【方法】 避難訓練、情報伝達訓練 【手順】 対象地区の自治会を中心に、消防・警察・行政関係者が合同訓練を実施	

実施機関	深谷市消防本部	
現状・課題等	防災意識の高揚・対応能力の強化、防災関係機関、市民、事業所との連携強化。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 深谷市総合防災訓練 【対象】 市、防災関係機関、市民、事業所等 【方法】 実践的かつ効果的な各種訓練を総合的に実施します。 【手順】	災害対応能力の強化、防災体制の充実及び防災意識の高揚を図る。

実施機関	深谷市消防本部	
現状・課題等	関越自動車道における災害の発生に対し、被害を軽減するため関係機関の連携強化。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 関越自動車道埼玉県消防連絡協議会合同訓練 【対象】 消防、警察、埼玉DMAT、東日本高速道路(株) 【方法】 多重衝突事故等を想定した、各関係機関との連携訓練を実施します。 【手順】	各機関が連携した有効かつ効果的な活動ができるようにする。

実施機関	深谷市消防本部	
現状・課題等	トンネル等における自動車の火災事故防止策について。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 皆野寄居バイパストンネル防災訓練実施 【対象】 消防、警察、土木整備部、道路公社 【方法】 寄居トンネル内で車両事故を想定した、各関係機関との連携訓練を実施します。 【手順】	利用者の安全確保と災害発生時の対応の円滑化を図る。

実施機関	深谷市(総務防災課)	
現状・課題等	医師会・歯科医師会・薬剤師会との協定を締結	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 災害時の医療救護活動／応急医薬品の協力に関する協定 【対象】 医師会・歯科医師会・薬剤師会 【方法】 災害時における各関係機関との連携 【手順】 応急救護所を開設し、医師会に医療救護班の派遣を要請する。また、医薬品等を必要とするときは、薬剤師会に医薬品等の供給について協力を要請する。	利用者の安全確保と緊急時の対応体制の充実を図る。

実施機関	深谷市(総務防災課)	
現状・課題等	市主催による総合防災訓練を実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 深谷市総合防災訓練 【対象】 防災関係機関、関係団体及び市民 【方法】 応急救護所運用訓練ほか 【手順】 応急救護所及びトリアージポストを設置し、医療隊と連携し多数傷病者のトリアージ及び救護を行う。	応急救護所運用訓練の実施により、関係機関の連携体制の確立、確認を図る。

実施機関	深谷市(総務防災課)	
現状・課題等	自主防災会による防災訓練を実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 自主防災会防災訓練 【対象】 自主防災会員 【方法】 初期消火、応急救護、炊出し訓練等を実施する。 【手順】 消防、消防団、地域防災指導員の指導により、防災訓練を実施する。	防災訓練を行うことにより、日頃からの防災意識の高揚と普及を図る。

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	深谷市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、平時から関係機関と連携する必要があること、また発生時の住民接種の対応等について医師会等の関係機関と調整を図る必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 国県の動向に注視し、研修会等により情報収集を行いながら関係機関と調整を図る。 【対象】 市民等 【方法】 情報収集、関係機関との調整 【手順】	振興感染症等発生時に対応できるよう体制整備に努める。

実施機関	美里町、各自主防災組織	
現状・課題等	土砂災害、地新党の災害を想定した図上訓練を実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 図上訓練 【対象】 各自主防災組織 【方法】 各自主防災組織に町が出前講座を実施 【手順】	災害の予測、避難経路、避難場所等を確認する。備蓄品として常備薬、生理用品を盛り込むなど自己防衛、防災意識の高揚や、避難体制の強化を図る。

実施機関	美里町、各自主防災組織	
現状・課題等	初期消火訓練、避難訓練、避難所開設訓練、炊き出し訓練、救護訓練、災害時要支援者避難訓練(疑似体験訓練)などを複数組み合わせ実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 防災訓練 【対象】 各自主防災組織 【方法】 各自主防災組織が地域住民を対象とした訓練を実施 【手順】	住民一人ひとりと自主防災組織の災害対応力の向上及び被害の軽減を図ることを目指す。

実施機関	神川町	
現状・課題等	消防団員の救命技術の向上、地域住民による救護活動の普及啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】消防団員基礎教育訓練</p> <p>【対象】入団から3年以内の団員</p> <p>【方法】消防学校の教育訓練の基準に基づき実施</p> <p>【手順】埼玉県消防協会本庄児玉支部及び埼玉県消防学校で対象者に実施</p>	消防団員としての基礎的な火災防ぎよ、救助法、応急手当法を身につける。
度	<p>【事業名】消防団員普通救命講習</p> <p>【対象】前回の受講から2年経過の団員</p> <p>【方法】普通救命講習カリキュラムに基づき対象者に実施</p> <p>【手順】児玉郡市広域消防本部に依頼</p>	消防団員として、胸骨圧迫、AEDの使用止血法、異物除去法を身につける。
	<p>【事業名】消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程</p> <p>【対象】消防団幹部団員</p> <p>【方法】消防学校の教育訓練の基準に基づき実施</p> <p>【手順】埼玉県消防学校で実施</p>	幹部団員として災害現場での救助、救命法指揮要領を身につける。
	<p>【事業名】消防団員救助資機材取扱訓練</p> <p>【対象】消防団員</p> <p>【方法】消防団に配備されている救助資機材の取扱方法等の訓練</p> <p>【手順】児玉郡市広域消防職員を講師に実施</p>	分団に配備されている救助資機材を災害時有効活用できるように訓練を実施。
	<p>【事業名】普通救命講習</p> <p>【対象】町民・各種団体</p> <p>【方法】普通救命講習カリキュラムに基づき対象者に実施</p> <p>【手順】神川町消防団応急手当普及員及び児玉郡市広域消防で実施</p>	消防団応急手当普及員として、町民に応急手当法の普及・啓発活動及び救命率向上を目的とする。

実施機関	神川町	
現状・課題等	災害時における日用品の供給体制の整備	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】災害時日用品給付</p> <p>【対象】被災者</p> <p>【方法】被災された方に毛布や日用品を支給</p> <p>【手順】</p>	災害時に迅速に日用品を支給。
度		

実施機関	神川町	
現状・課題等	日頃の防災訓練と災害時における住民相互の救助体制の整備	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】夏のボランティア体験プログラム</p> <p>【対象】小・中・高生</p> <p>【方法】日赤奉仕団協力のもと炊き出し訓練等の実習、避難所体験</p> <p>【手順】</p>	災害に対する知識や技術の習得
度		

実施機関	神川町	
現状・課題等	新型インフルエンザ等対策行動計画等を整備し、対策の強化を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年	<p>【事業名】新型インフルエンザ・新型感染症対策の強化</p> <p>【対象】町民</p> <p>【方法】神川町新型インフルエンザ等対策行動計画等に基づく対策を実施</p> <p>【手順】保健所や医療機関など関係機関と連携し、町民の生命・健康の保護に努める。</p>	住民の生命・健康の保護に努める。
度		

実施機関	上里町	
現状・課題等	上里町地域防災計画により実施。医師会、歯科医師会と協定を締結(H12)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 上里町災害対策本部応急活動 【対象】 被災住民 【方法】 初期医療等医療応急体制の整備 【手順】 救護所の設置、医療機関との連携、体制整備	災害時の医療体制の確保

実施機関	上里町	
現状・課題等	災害時における意識啓発を図り、各自に対応した心構えを平常時に培っておく。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 防災フェスティバル 【対象】 地域住民、日赤奉仕団、消防団、児玉郡市広域消防本部、行政 【方法】 救助訓練、防災食の炊き出し等 【手順】 災害時における対応訓練を実施し、意識の啓発を図る。	災害時の意識啓発を図る。

実施機関	上里町	
現状・課題等	災害時における救命技術の向上 普通救命講習は2年に1度実施。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 普通救命講習 【対象】 消防団員 【方法】 応急手当の講習。2年に1度実施。(平成29年度実施予定) 【手順】 未講習の消防団員に講習を実施	2年に1回実施、消防団員全員

実施機関	寄居町	
現状・課題等	防災と健康管理部門との情報共する場がなく、災害時の対応についての情報の共有が十分でない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 災害時における体制整備事業 【対象】 庁内関係課 【方法】 保健所主催の会議・研修会に参加し、対応について学ぶと共に関係課で情報の共有する。 【手順】	関係課との情報共有が行える

実施機関	児玉郡市広域消防本部	
現状・課題等	大規模災害発生時における合同訓練	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 大規模災害(特殊災害)発生時の初動対応訓練 【対象】 消防本部、医師会、医療機関、市町 【方法】 関係機関との合同訓練を実施 【手順】	災害時における市町及び医療機関との連携強化を図る。

実施機関	児玉郡市広域消防本部	
現状・課題等	緊急消防援助隊における合同訓練	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	【事業名】 平成29年度緊急消防援助隊合同訓練 【対象】 防災関係機関(消防・自衛隊・警察等)、医療機関(ドクターヘリ、DMAT) 【方法】 群馬県で行われる合同訓練に参加する。 【手順】	防災関係機関との円滑な連携活動。

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	災害時における関係機関との連携強化、職員の対応能力の向上が必要とされる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 関係機関との災害時通信訓練 【対象】 拠点保健所管内保健所、市町村、医師会、消防本部 【方法】 衛星携帯電話・防災無線の通信訓練 【手順】 保健所間の衛星携帯電話通信訓練、市町、医師会、消防との防災無線通信訓練の実施	大規模災害時の通信手段の確保
	【事業名】 災害時公衆衛生活動実地訓練 【対象】 保健所、市町村、医師会、消防、医療機関等 【方法】 大規模災害シミュレーション型訓練・EMIS入力訓練の実施 【手順】 熊谷保健所危機管理マニュアル(アクション・カード)を作成し、シミュレーション訓練を実施。 EMIS災害モード時を中心に、医療機関の入力訓練を実施。	健康危機管理体制の整備充実

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	温暖化等環境や生態系の変化、グローバル化を背景に海外で発生、流行する感染症が流入し、県内での発生も散見されている。近年では、新型インフルエンザの大流行(平成21年)や70年ぶりにデング熱が国内発生(平成26年)している。特に今後国内、管内において国際的なスポーツイベント等を控えていることも踏まえ、国内外の感染症発生に備えた初動体制整備と関係機関との連携強化が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 医療提供体制の整備 【対象】 医師会、病院 【方法】 医療機関への協力依頼 【手順】 感染症関係情報の提供(随時) 感染症担当者会議の開催(7月)	新型インフルエンザ等発生に備えた体制整備強化
	【事業名】 新型インフルエンザ等感染対策体制整備 【対象】 保健所、市町村、医療機関等 【方法】 会議・訓練・研修会等の開催 【手順】 所内模擬訓練(PPE着用・患者搬送訓練等)連絡訓練の実施(6月12月) 感染症指定医療機関との連絡調整及び患者搬送訓練の実施(10月) 国、県が実施する新型インフルエンザ等対策訓練への参加	

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	災害発生時における初動体制について、関係機関の役割分担を整理し、災害に備えること。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年 度	【事業名】 災害発生時における医療提供体制の確保 【対象】 関係各機関 【方法】 関係機関における役割分担の再確認、シュミレーション訓練、EMISの活用 【手順】 1 関係機関(保健所・市町・消防等)の初動体制の確認 2 シュミレーション訓練に参加、役割分担と行動の整理 3 EMISの活用	初動体制の確認及び各関係機関との連携

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	新型インフルエンザ等の対応を適切かつ的確に行うためには、管内の関係者間での情報の共有や医療体制等の整備が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】○新型インフルエンザ等対策会議 ○保健所管内市町感染症担当者連絡会議 ○新型インフルエンザ等入院協力医療機関との連絡体制の整備</p> <p>【対象】保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、消防本部</p> <p>【方法】対策会議:北部保健医療圏保健医療協議会において実施 連絡会議:保健所において実施 入院医療医機関との連絡体制整備:連絡網の更新と情報伝達方法の確認</p> <p>【手順】最新の情報や知見の共有を図り、管内発生時の医療等体制整備に関する協議を行う。</p>	情報の共有と管内の医療体制整備

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	新型インフルエンザ等が発生した際に、保健所及び管内関係機関が適切かつ確な対応ができるよう、知識の普及と対応能力の向上を図る必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
29年度	<p>【事業名】○新型インフルエンザ等対応訓練 ○関係者向け研修会</p> <p>【対象】医療機関、市町職員、保健所職員等</p> <p>【方法】訓練:情報伝達訓練、防護服着脱訓練等 研修会:保健所主催により開催</p> <p>【手順】県庁及び管内市町村、入院協力医療機関と情報伝達訓練を実施。関係機関に対する保健所防護服着脱訓練や車両搬送訓練への参加呼びかけ。医師会の協力を得ての研修会の開催。</p>	新型インフルエンザ等が実際に発生した時に、各機関が機能的に活動できる人材を育成する。

